

伊根町の地域づくりに関する町民アンケート 分析結果(単純集計)

福知山公立大学地域経営学部

准教授 佐藤 充

sato-mitsuru@fukuchiyama.ac.jp

1. 調査の概要

◆ 調査の実施内容

【目的】

「第6次伊根町総合計画」及び「第2期伊根町まち・ひと・しごと創生地域総合戦略」の進捗を把握するために、伊根町のまちづくりに対する住民の評価や意向を明らかにすること。

【対象】

伊根町に居住する15歳以上の男女1,000名（無作為抽出）

【実施期間】

2025年9月

【実施方法】

郵送配布・郵送回収とWeb調査の併用

◆ まちづくりの柱①

誰もが誇れる・ええまち

自然や景観、文化や伝統など先人から受け継いだ財産を、次代へ継承することができるまちづくりを進めます。

政策分野1 地域づくり

【住民主体の持続可能な地域づくり】

- ◎ 主体性のある地域づくり
- ◎ 移住支援

政策分野2 自然環境・景観

【農山漁村景観の保全と継承】

- ◎ 景観保全の取組
- ◎ 自然環境保全の取組

政策分野3 歴史・文化

【文化財の保護と伝統文化の継承】

- ◎ 文化財の保護
- ◎ 伝統文化の継承



子育てしやすい・ええまち

次代を担う子ども達が健やかに成長し、安心して子育てすることができる「子育て日本一」のまちづくりを進めます。

政策分野4 子育て

【地域で育む子育て日本一】

- ◎ 子育て環境の充実
- ◎ 保育の充実

政策分野5 教育

【きめ細やかな教育の推進】

- ◎ 学校教育の充実
- ◎ 社会教育の推進
- ◎ 人権を尊重するまちづくりの推進



豊かで住みよい・ええまち

農林水産業の6次産業化など支援し、地場産業を振興するとともに、観光関連産業と連携したまちづくりを進めます。

政策分野6 産業振興

【持続可能な農山漁村を目指した農林漁業への支援】

- ◎ 担い手の支援
- ◎ 産業基盤の充実
- ◎ 販路拡大の推進
- ◎ 地産地消の推進
- ◎ 鳥獣被害対策の推進

政策分野7 商工観光

【伊根浦を核としたまち全体が豊かになる観光の推進】

- ◎ 観光地としての伊根浦の創出
- ◎ 誘客対策の強化
- ◎ 連携による相乗効果の創出
- ◎ 事業者の支援
- ◎ 団体の支援
- ◎ 観光基盤施設の管理運営



◆ まちづくりの柱②

ひとが輝く・ええまち

誰もが生きがいや役割を持ち、自分らしく暮らすことができるまちづくりを進めます。

政策分野8 保健

【健康で生き生きとした暮らしの実現】

- ◎ 主体性のある健康づくり
- ◎ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

政策分野9 福祉

【住み慣れた地域で自分らしく】

- ◎ 高齢者等の包括的支援
- ◎ 障害のある人への支援
- ◎ 権利擁護の推進
- ◎ 担い手の要請
- ◎ 生きがいの創出

政策分野10 医療

【地域で安心して暮らせる医療体制の充実】

- ◎ 医療体制の充実
- ◎ 救急医療体制の確保



暮らしやすい・ええまち

豊かな自然環境を守りながら生活の質を維持向上させ、安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。

政策分野11 消防・防災

【防災まちづくり】

- ◎ 消防力の維持・強化
- ◎ 防災施設等の整備
- ◎ 防災力の向上

政策分野12 社会インフラ

(1)生活インフラ

【安定した上下水道事業の運営と適正なごみ処理】◎
水道の安定供給 ◎ 循環型社会の推進 ◎ 生活排水の適正処理 ◎ 適正なごみ処理の推進 ◎ し尿等の適正処理

(2)交通インフラ

【安心安全な道路と公共交通の確保】

- ◎ 町道の整備と維持管理
- ◎ 国道・高規格幹線
- ◎ 公共交通の確保
- ◎ 道路の整備促進

(3)住宅インフラ

【住宅の供給と空き家対策】

- ◎ 住宅の供給

政策分野13 情報インフラ

【スマートタウン伊根町】

- ◎ 情報インフラの活用



開かれた・ええまち

今ある行政資源を最大限、効果効率的に活用し、質の高い行政サービスを提供できるまちづくりを進めます。

政策分野14 財政運営

【持続可能な財政運営】

- ◎ 健全な財政の堅持

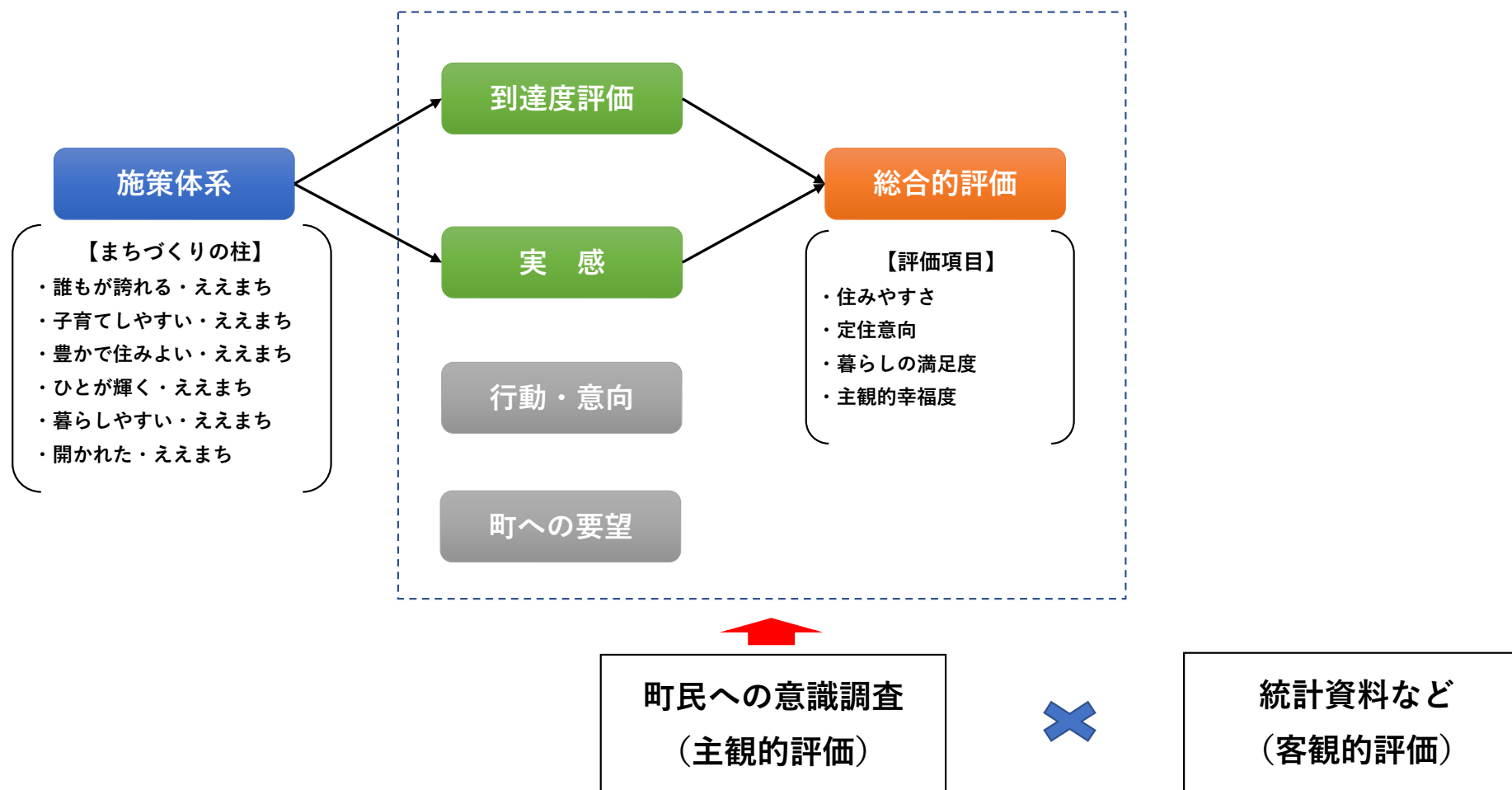
政策分野15 行政

【活き生き頑張る行政】

- ◎ 職員の能力向上
- ◎ 適正な行政運営
- ◎ 事業評価の実施
- ◎ 広報の充実



◆ 設問項目の体系図



◆ 本調査の設問項目①

	まちづくりの柱	設問文
町民による 到達度評価	誰もが誇れる・ええまち	伊根町は、他の地域に誇れる町であると思いますか？
	子育てしやすい・ええまち	伊根町は、子育てしやすい町であると思いますか？
		伊根町は、生涯にわたって学習できる環境が整っている町であると思いますか？
		伊根町は、文化活動やスポーツに取り組みやすい町であると思いますか？
	豊かで住みよい・ええまち	伊根町は、経済的な豊かさを感じられる町であると思いますか？
	ひとが輝く・ええまち	伊根町は、安心して医療サービスを受けることができる町であると思いますか？
伊根町は、高齢者や障害者への福祉サービスが充実している町であると思いますか？		
暮らしやすい・ええまち	伊根町は、生活インフラ（道路・上下水道・公共交通等）が整備されている町であると思いますか？	
	伊根町は、防災・防犯等の観点から安全・安心な町であると思いますか？	
町民の実感	誰もが誇れる・ええまち	あなたは、伊根町で暮らすことに誇りや愛着を感じますか？
	子育てしやすい・ええまち	あなたは、お住まいの地域に、子育て家庭に対する理解や協力の雰囲気があると感じますか？
	豊かで住みよい・ええまち	あなたは、生活に必要な所得や収入を得られていると感じていますか？
	ひとが輝く・ええまち	あなたは、心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？
		あなたは、お住まいの地域の方と交流することで充実感を感じますか？
		あなたは、お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？
暮らしやすい・ええまち	あなたは、買い物や移動などで不便なく日々の生活を送ることができていると感じますか？	
	あなたは、暮らしに必要な町の情報を入手することができていると感じますか？	
町民の 行動・意向	誰もが誇れる・ええまち	あなたは、地区や地域活動などに関わっていますか？
		あなたは、伊根町の自然環境や景観を大切にしたいと思いますか？
		あなたは、伊根町の文化財や伝統文化を守り、受け継ぎたいと思いますか？
	豊かで住みよい・ええまち	あなたは、伊根町に観光者が訪れることを歓迎していますか？
開かれた・ええまち	あなたは、行政と一緒に、伊根町のまちづくりに取り組みたいと思いますか？	
町への要望	開かれた・ええまち	あなたが伊根町で暮らしていくために、下記の取り組みのうち、特に必要に思うことはありますか？（該当するものはいくつでも）

◆ 本調査の設問項目②

【総合的評価(アウトカム指標)】

住みやすさ

あなたにとって、伊根町は
住みやすい場所ですか？

定住意向

あなたは、これからも伊根町
で暮らし続けたいですか？

生活の主観的満足度

あなたは、現在の生活にどの
程度満足していますか？

(0-10点評価・11件法)

※内閣府調査を参照

主観的幸福感

現在、あなたはどの程度幸せ
ですか？

(0-10点評価・11件法)

※文化庁調査を参照

◆ 本調査の設問項目（大問）

- （1） 回答者の属性について
- （2） 伊根町での暮らしについて
- （3） あなたが思う伊根町について
- （4） 買い物に関する実態について
- （5） 観光者の受入について

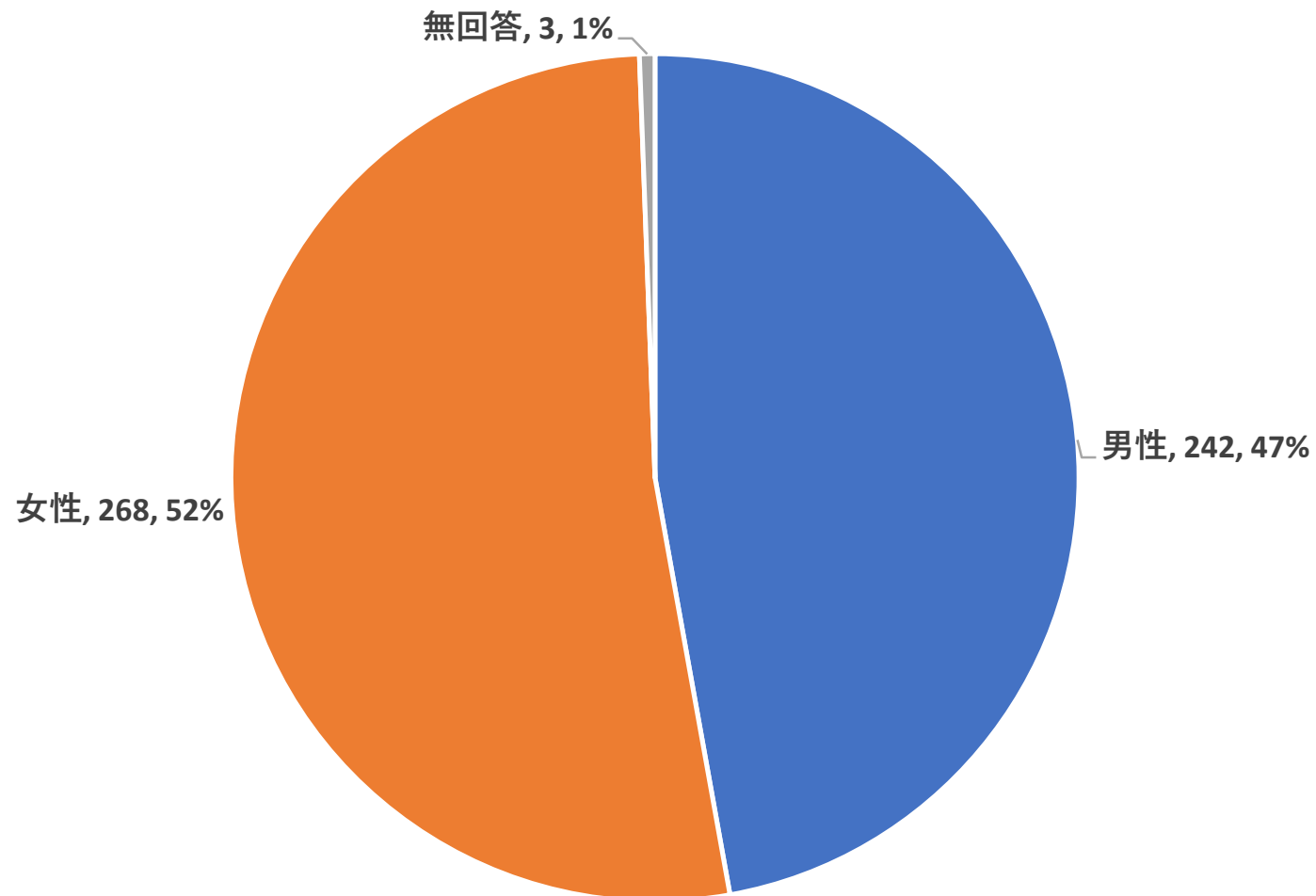
◆ 回収状況

- 配布数 : 999件
※宛先不明が1件あった
- 回収数 : 513件
うち、調査票は424件、Webは89件
- 有効回答数 : 513件
うち、調査票は424件、Webは89件
- 回収率 : 51.4%

2. 回答者の属性

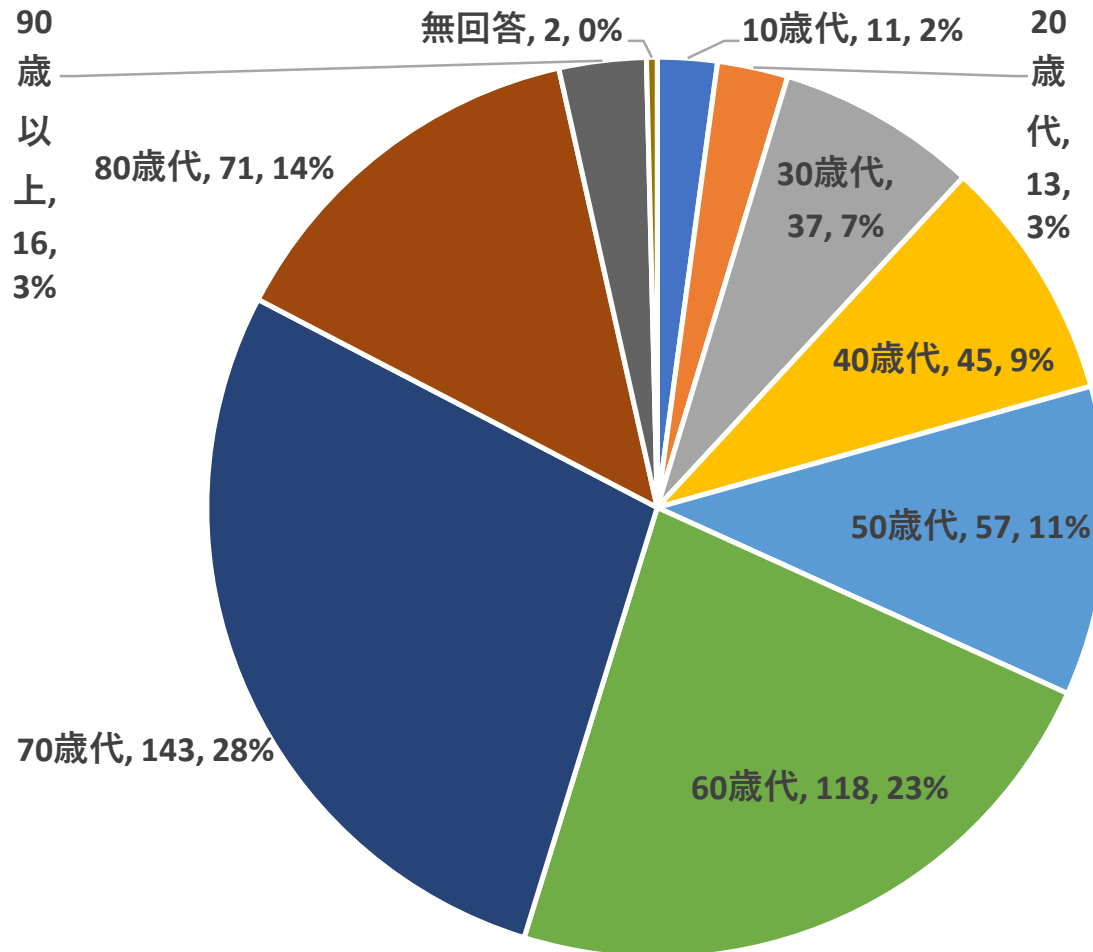
◆ 回答者の概要①

【性別 (n=513)】



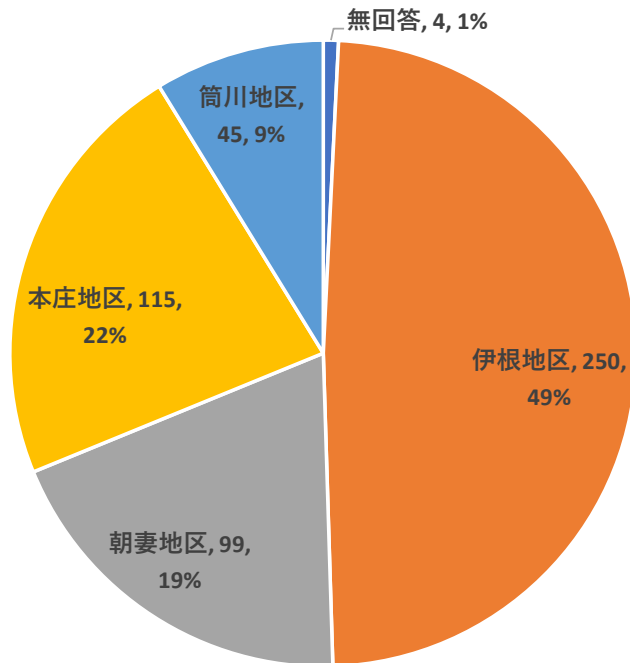
◆ 回答者の概要②

【年代(n=513)】

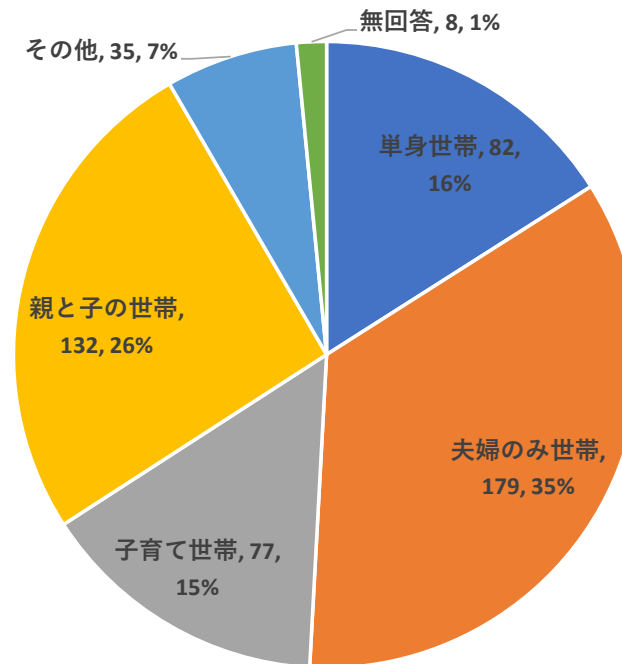


◆ 回答者の概要③

【居住地区(n=513)】



【世帯類型(n=513)】

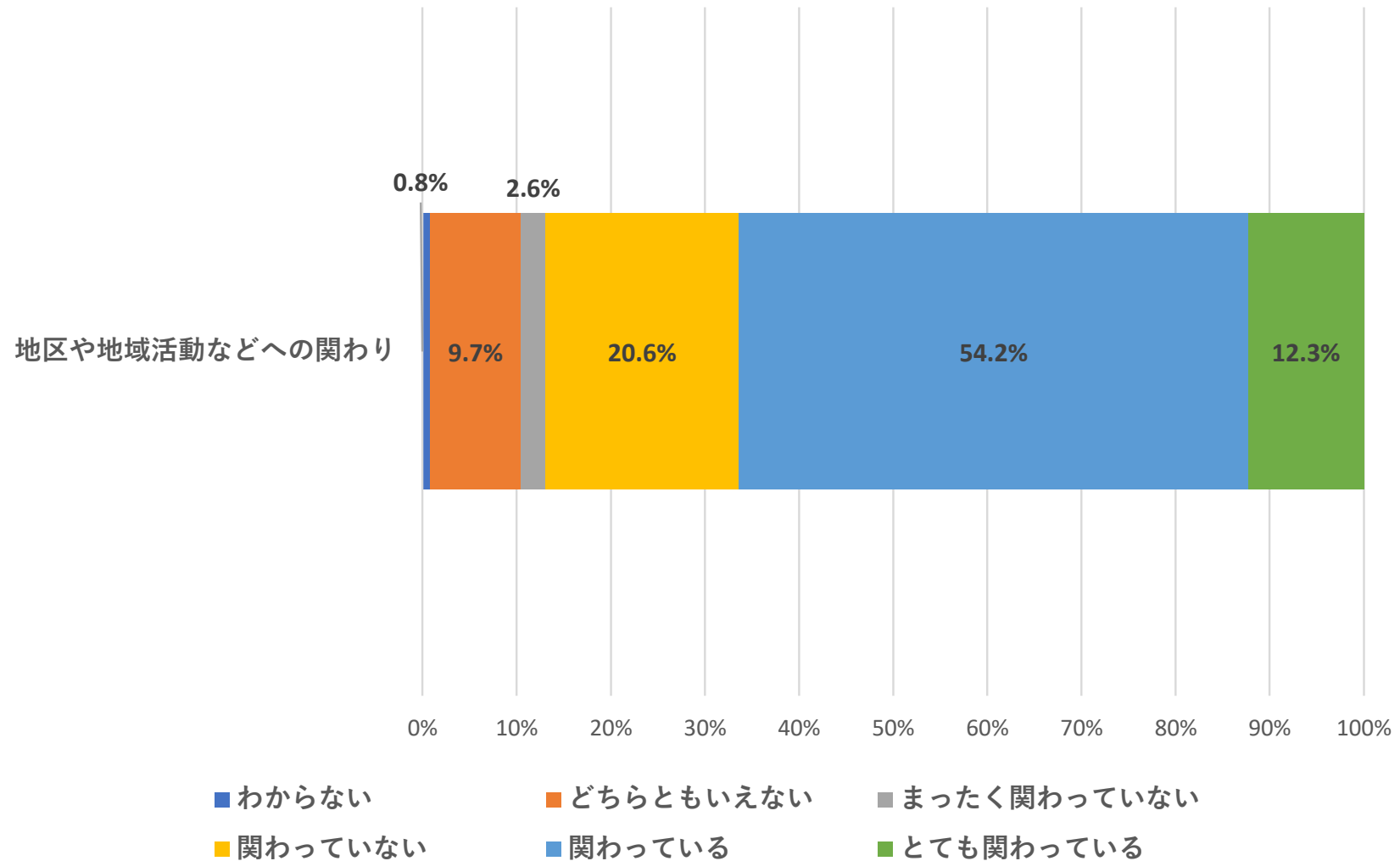


【注】

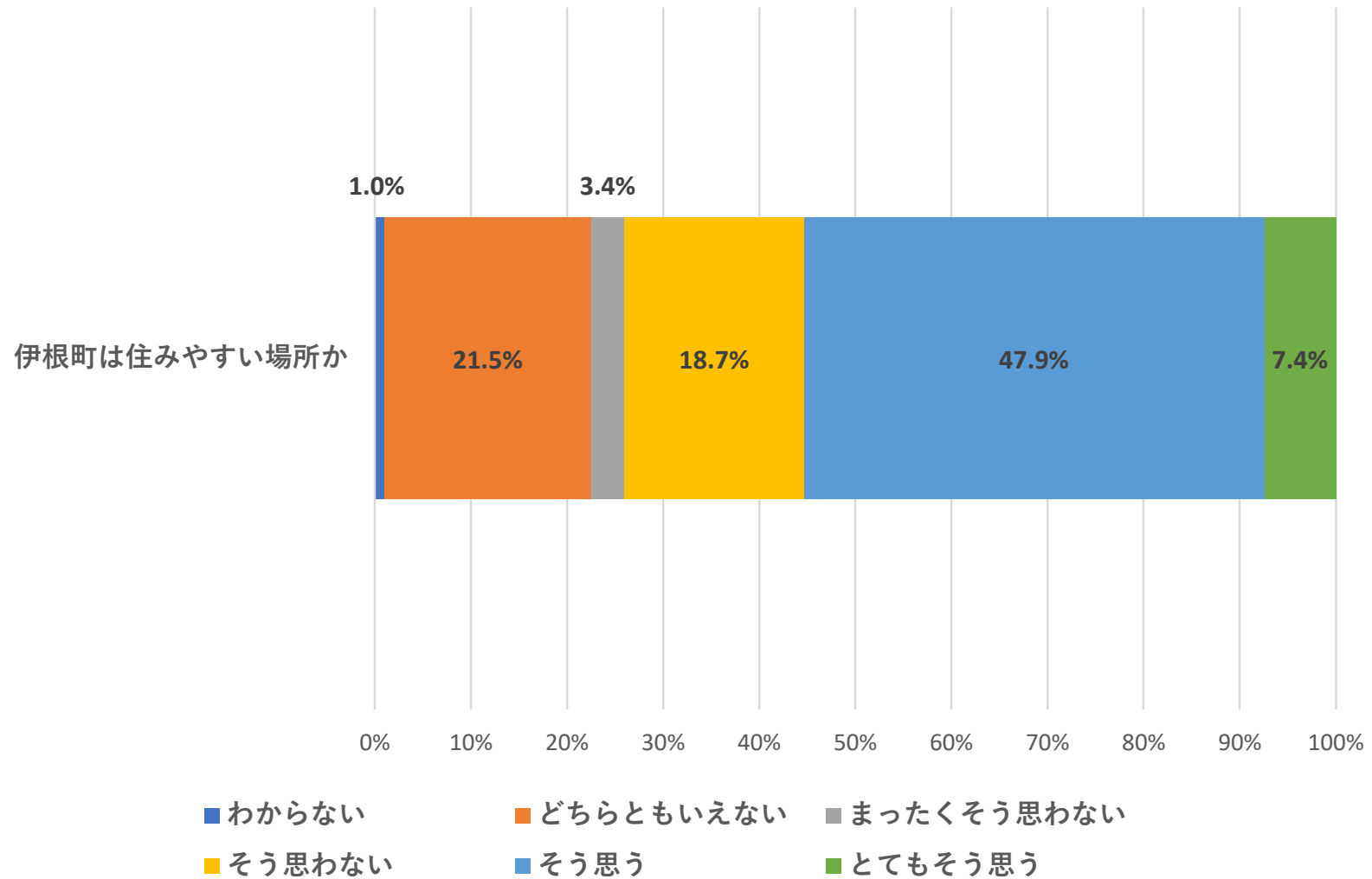
- ①単身世帯:おひとりのみ
- ②夫婦のみ世帯:配偶者・パートナーのみ
- ③子育て世帯:未就学児～中学生・高校生のお子様がいる世帯
- ④親と子の世帯:親と子(18歳以上)のいる世帯(配偶者・パートナーを含む)
- ⑤その他:上記以外の世帯

3. 伊根町での暮らしについて

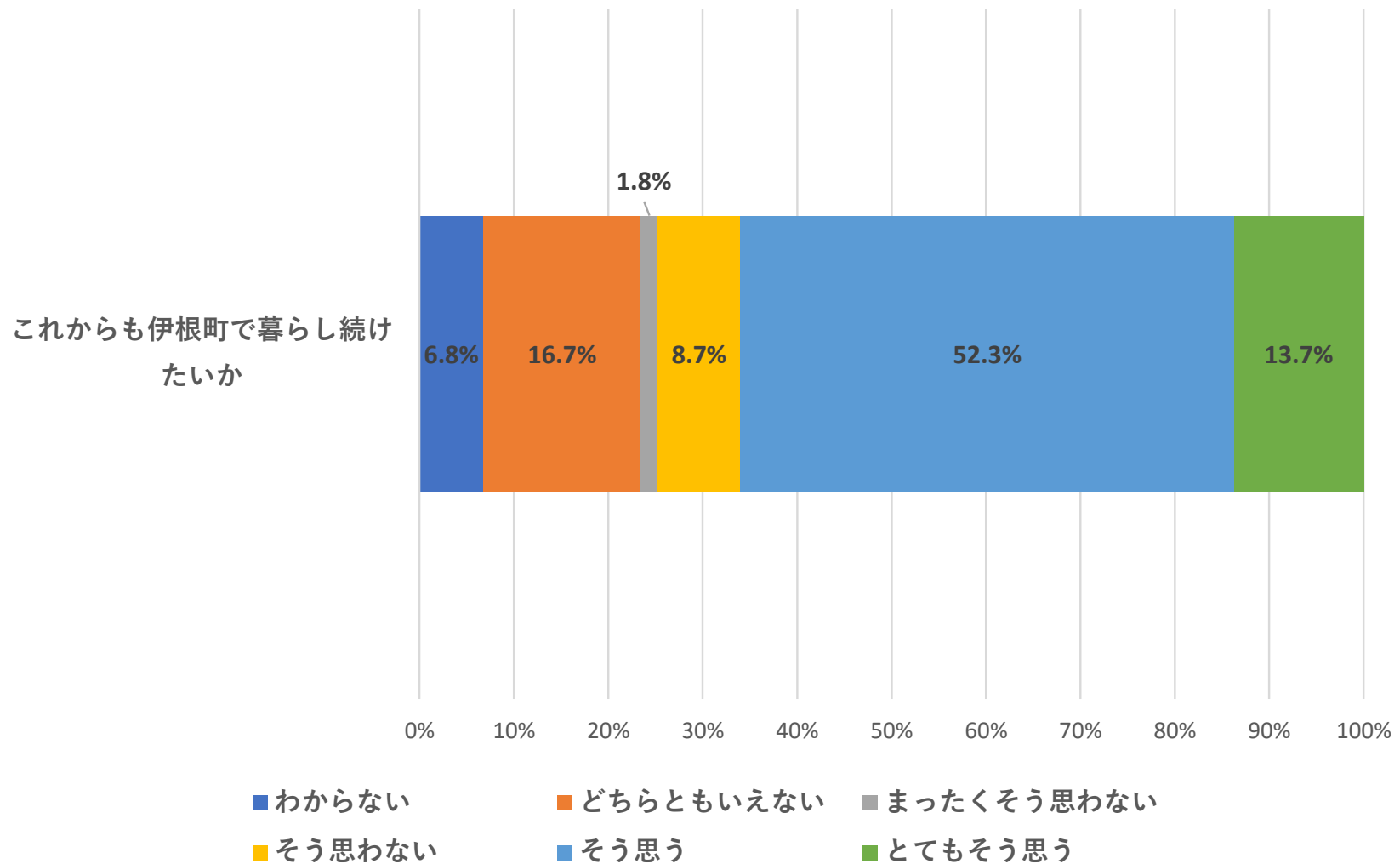
◆ 地区・地域活動の関与度 (n=506)



◆ 伊根町の住みやすさ(n=497)



◆ 今後の定住意向 (n=503)

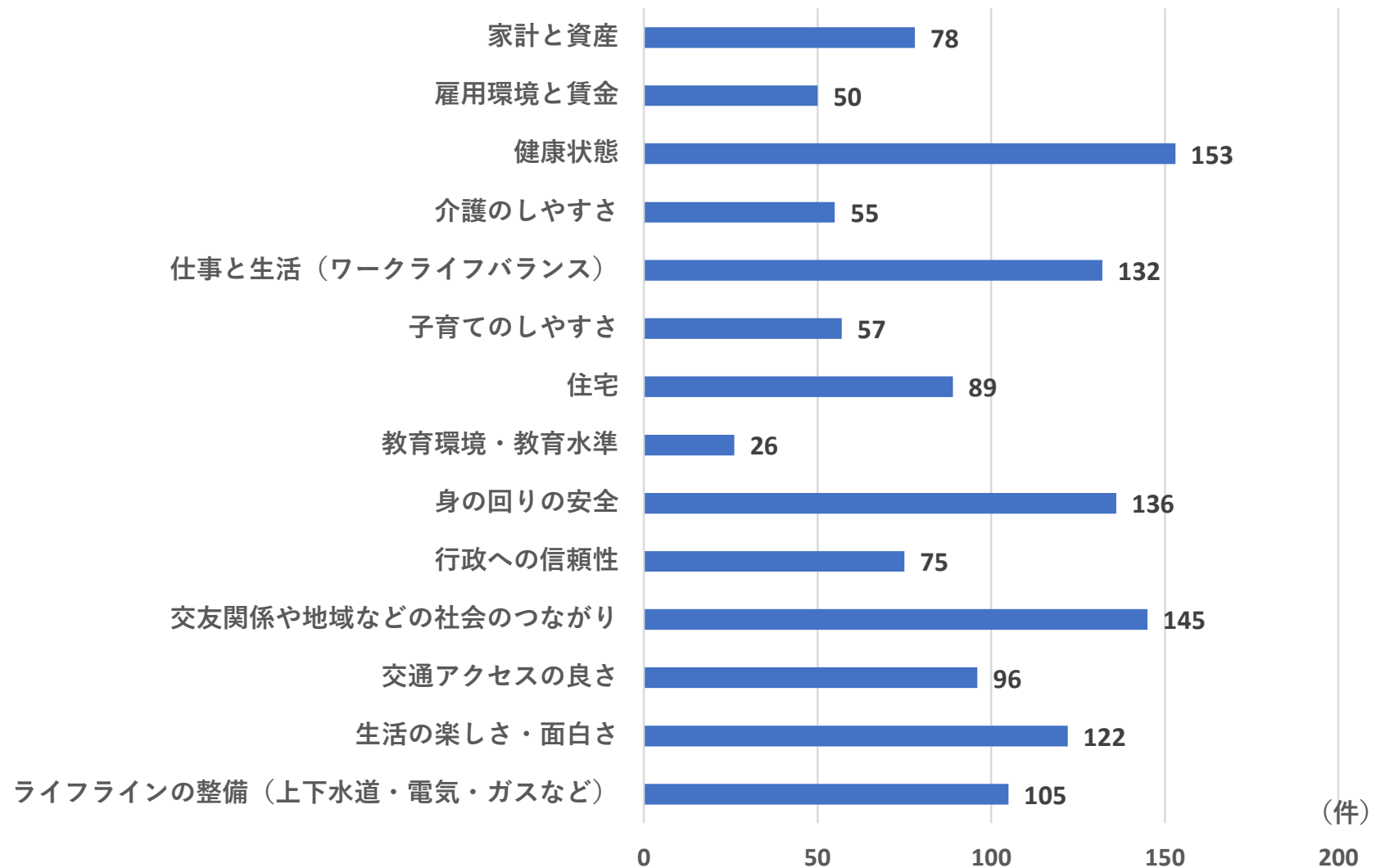


◆ 暮らしやすさに関する指標

指標名	満点	n	25年度 平均値	24年度 平均値（参考）	23年度 平均値（参考）
生活の満足度	10点	500	6.28	6.18	6.24
現在の健康状態	10点	500	6.41	6.29	6.49
現在の幸福度	10点	498	6.80	6.64	6.49

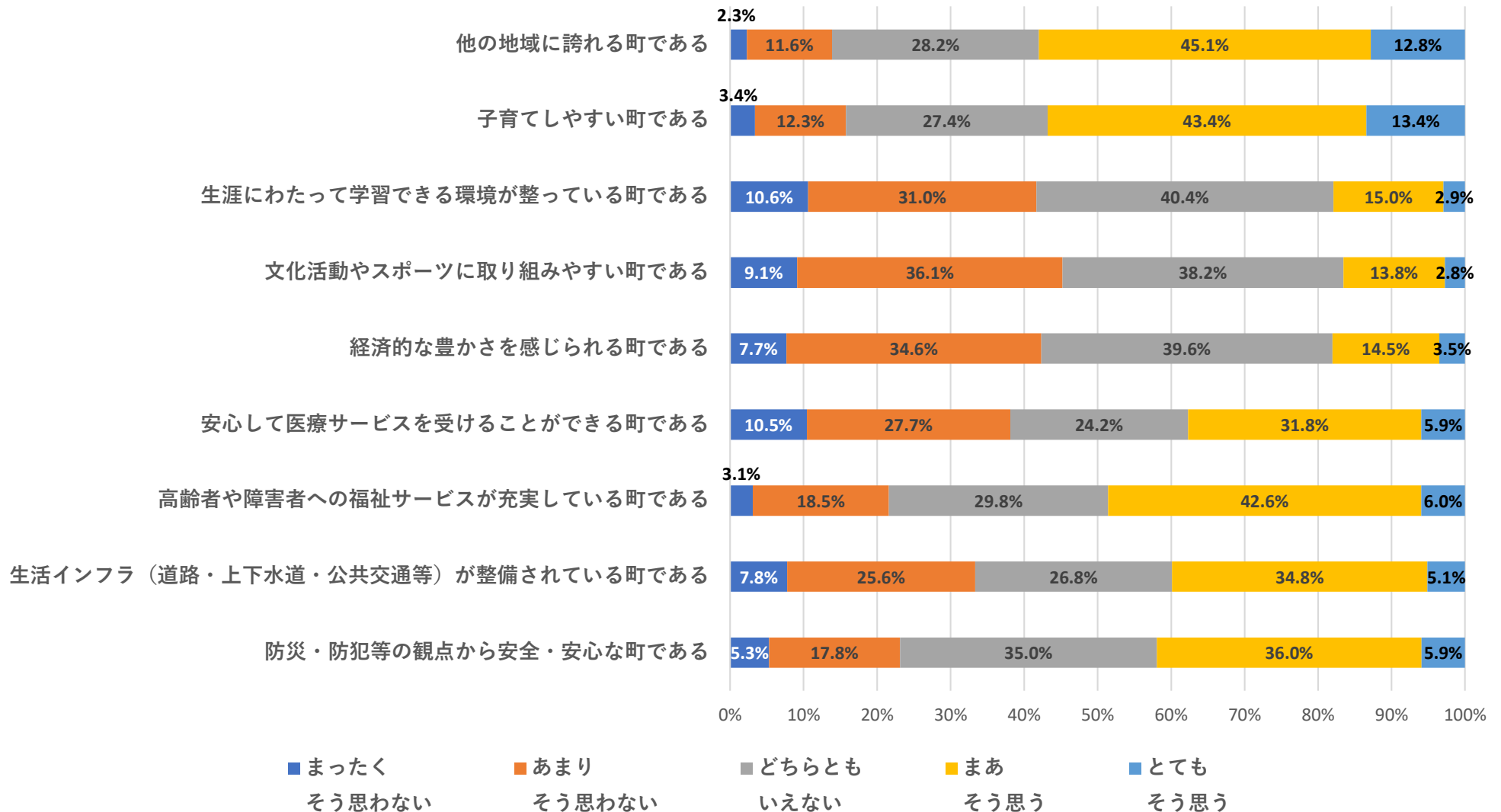
【参考】 内閣府「満足度・生活の質に関する調査」
生活の満足度 全国:5.79点(25年3月)
健康状態 全国:5.51点(25年3月)

◆ 満足度の判断で重視した項目（複数回答・n=513）

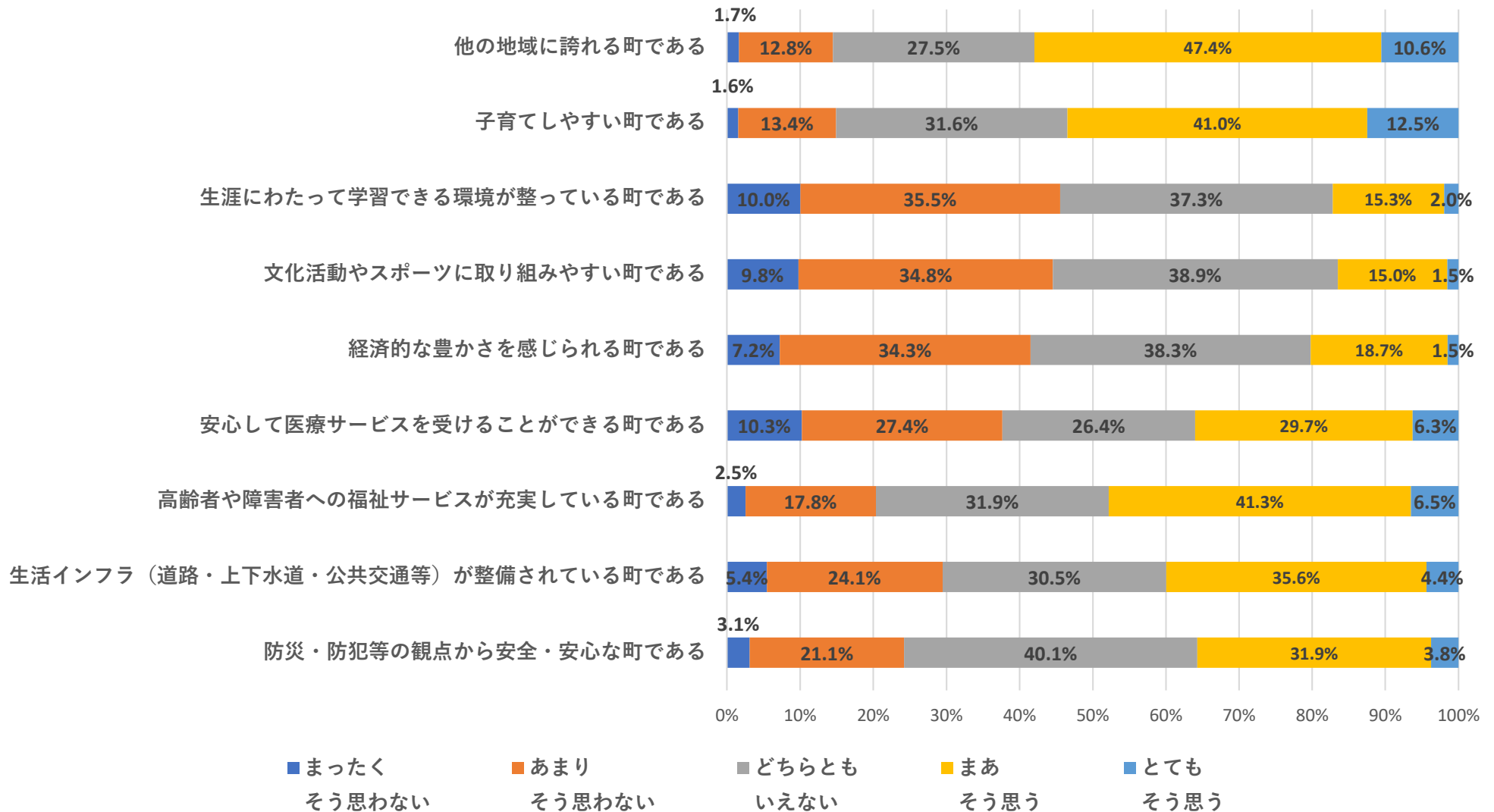


4. あなたが思う伊根町について

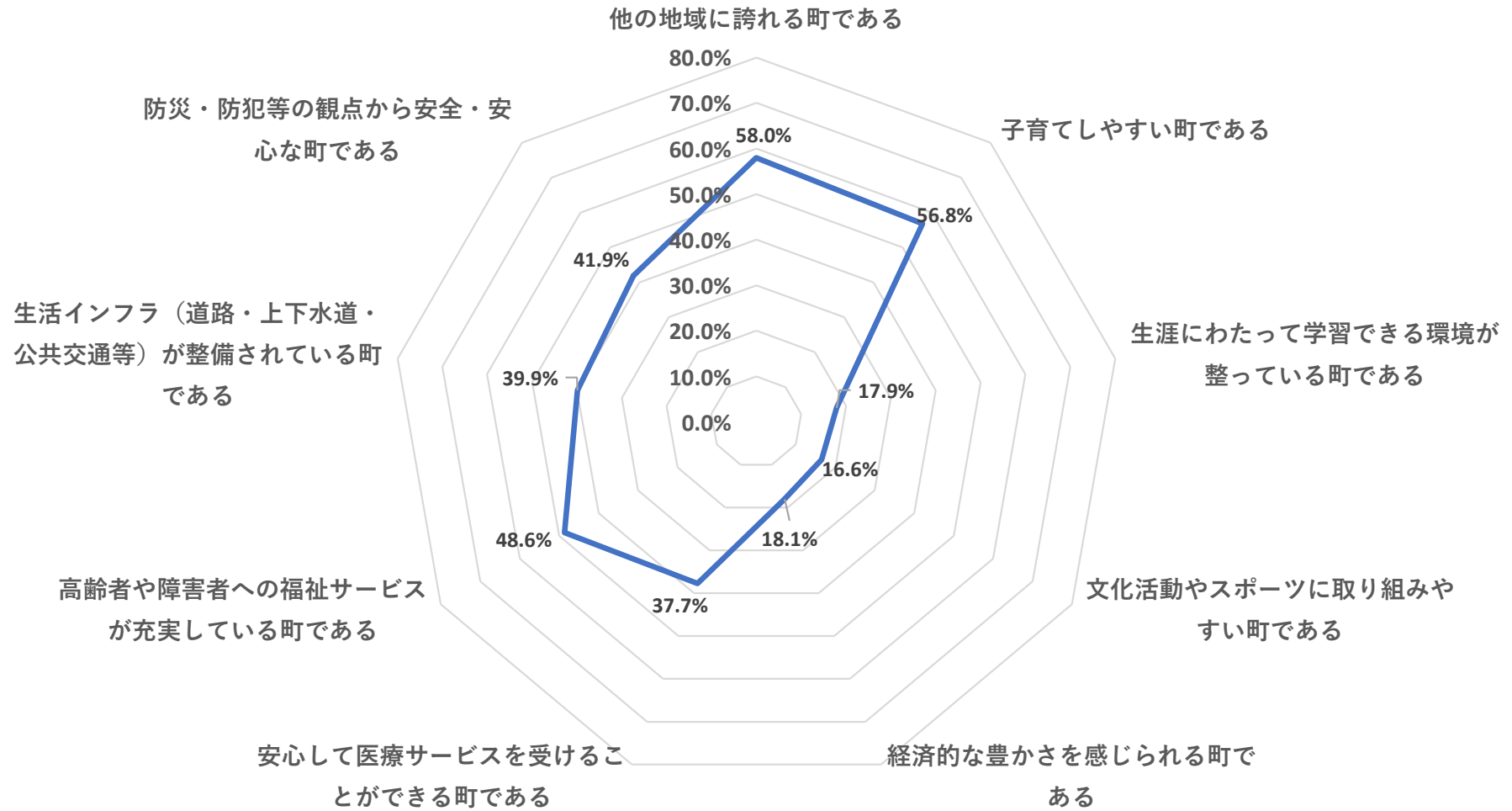
◆ 到達度評価①(25年度・n=491)



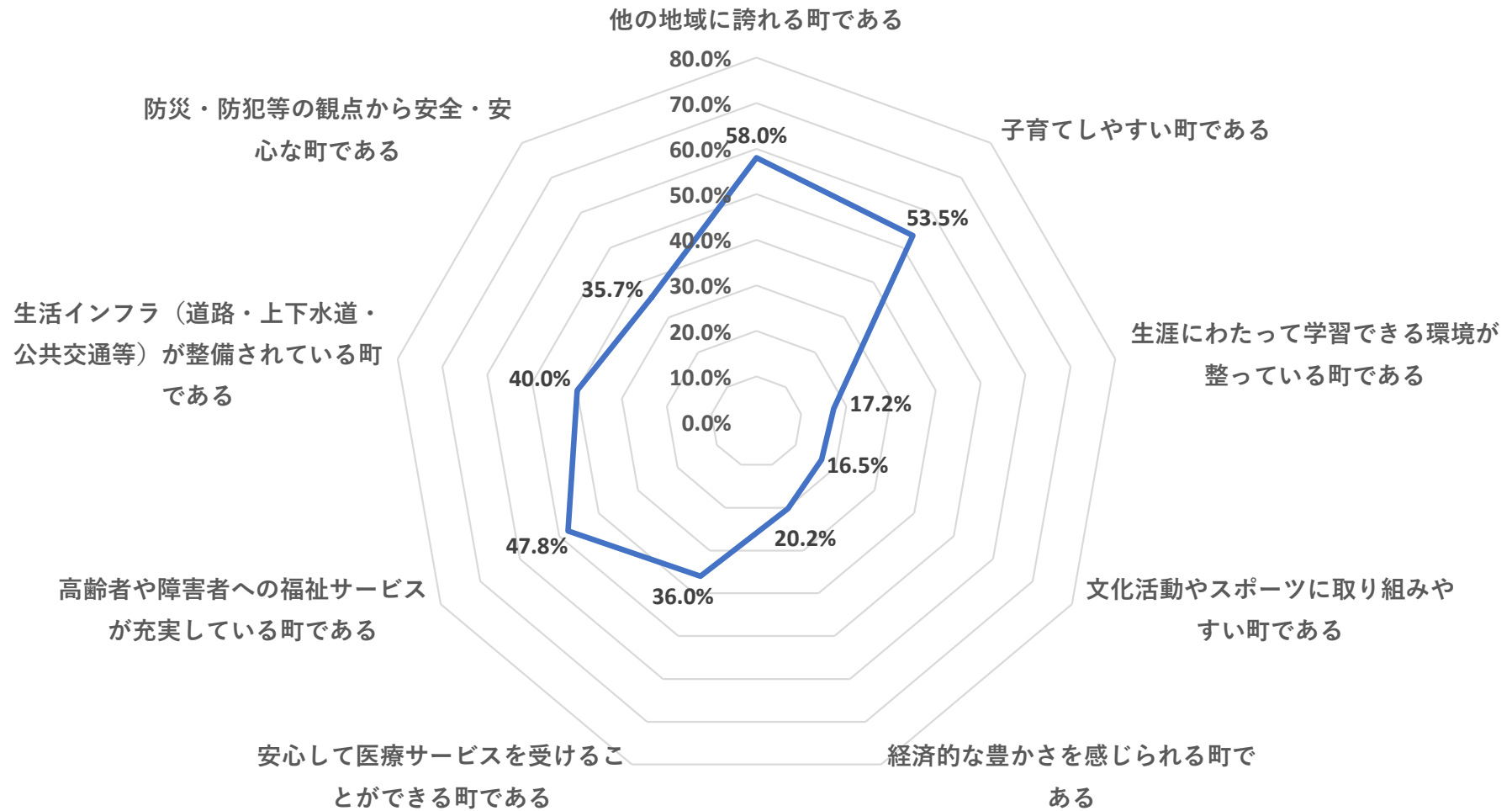
◆ 到達度評価②(24年度・n=483)



◆ 到達度評価③(25年度・n=491)



◆ 到達度評価④(24年度・n=483)



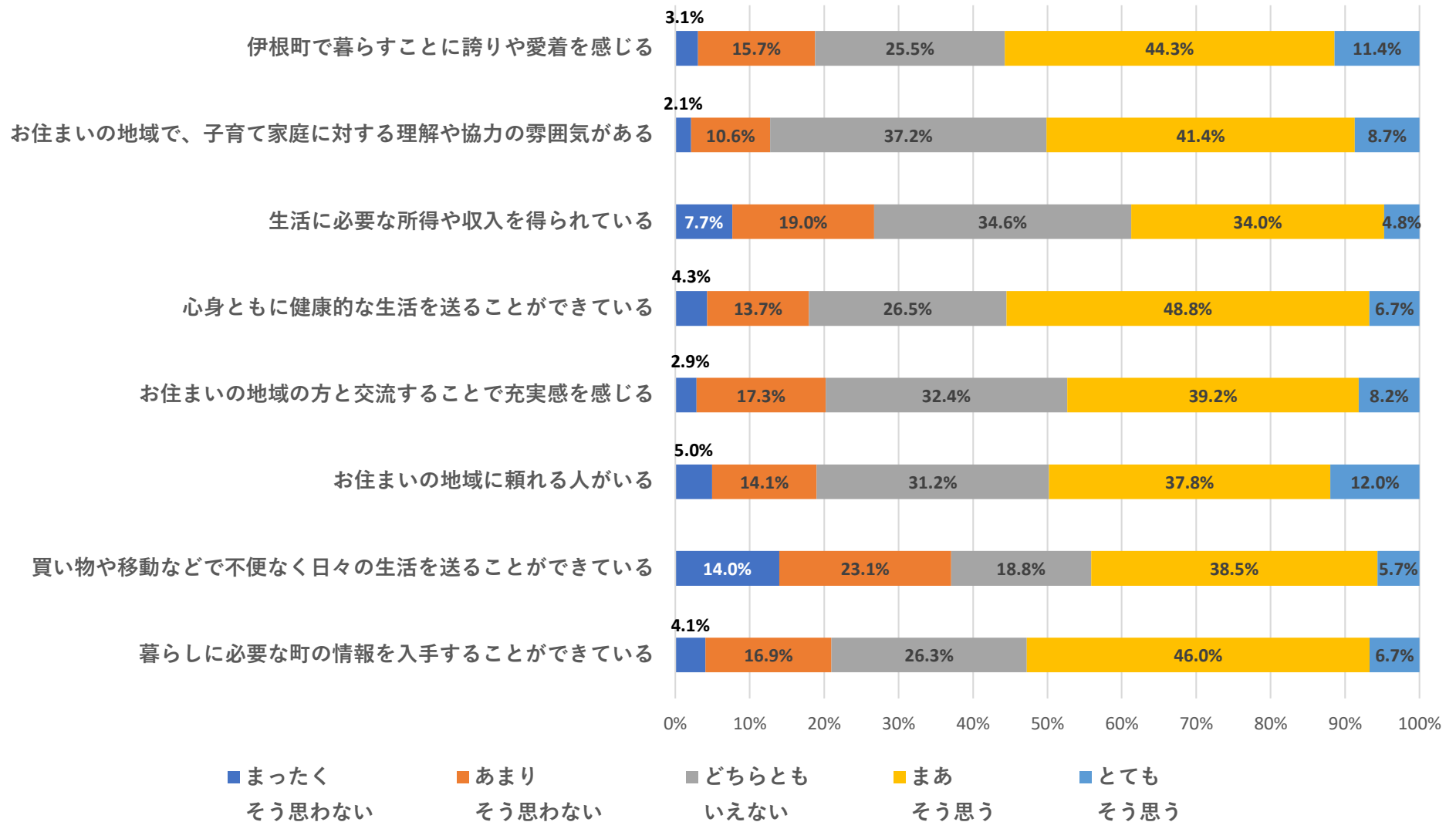
◆ 到達度評価の変化(24→25年度)

施策項目	24年度	25年度	変化	判定
他の地域に誇れる町である	58.0%	58.0%	±0.0pt	→ 横ばい
子育てしやすい町である	53.5%	56.8%	+3.3pt	↑ 増加
生涯学習の環境が整っている	17.2%	17.9%	+0.7pt	→ 横ばい
文化活動やスポーツに取り組みやすい	16.5%	16.6%	+0.1pt	→ 横ばい
経済的な豊かさを感じられる	20.2%	18.1%	-2.1pt	↓ 減少
安心して医療サービスを受けられる	36.0%	37.7%	+1.7pt	↑ 微増
高齢者・障害者の福祉サービス充実	47.8%	48.6%	+0.8pt	→ 横ばい
生活インフラが整備されている	40.0%	39.9%	-0.1pt	→ 横ばい
防災・防犯から安全・安心な町	35.7%	41.9%	+6.2pt	↑ 増加

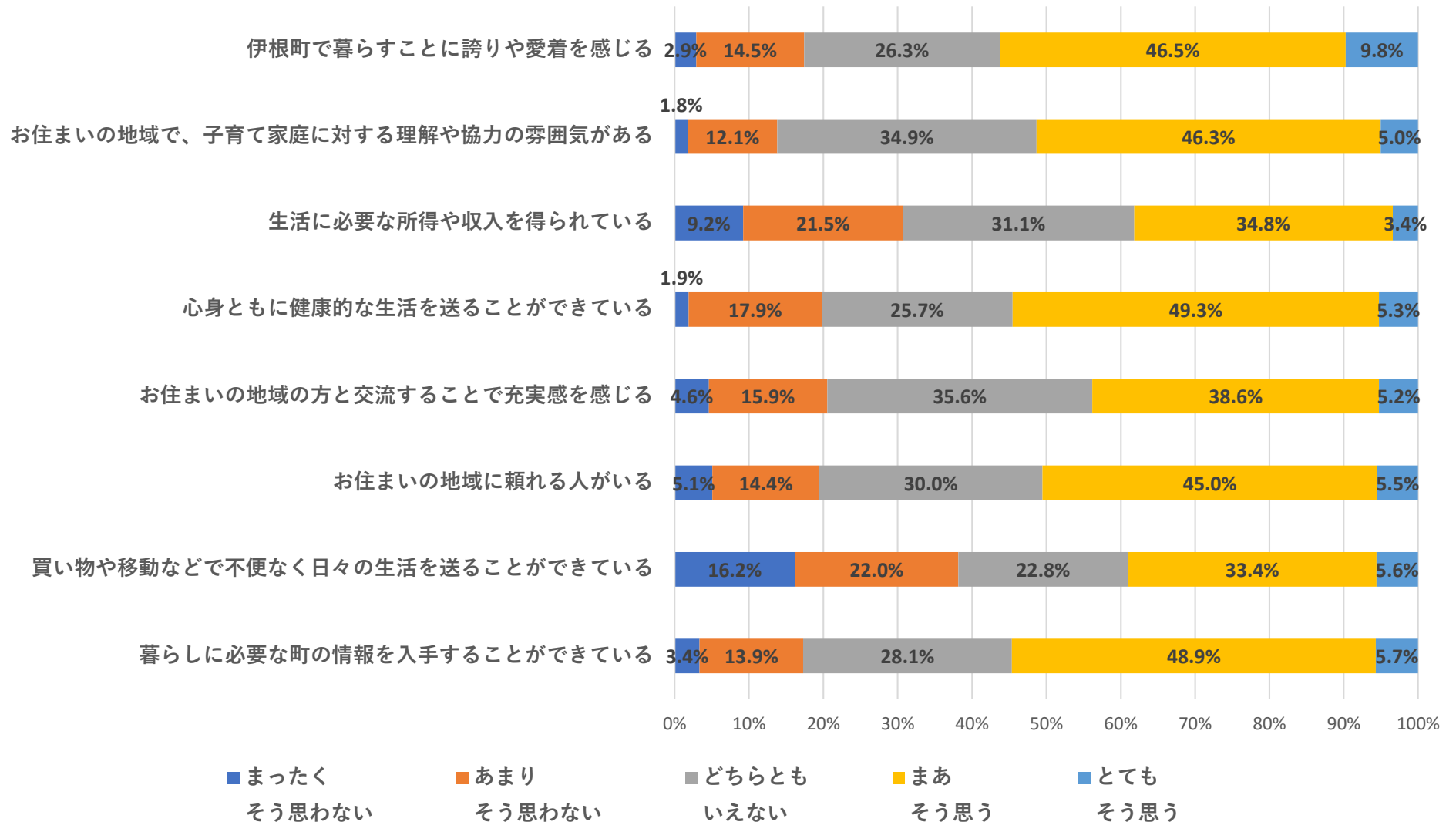
※ 肯定的回答(「まあそう思う」+「とてもそう思う」)の合計値で比較

※ 変化幅が概ね±2pt未満を「横ばい」と表記

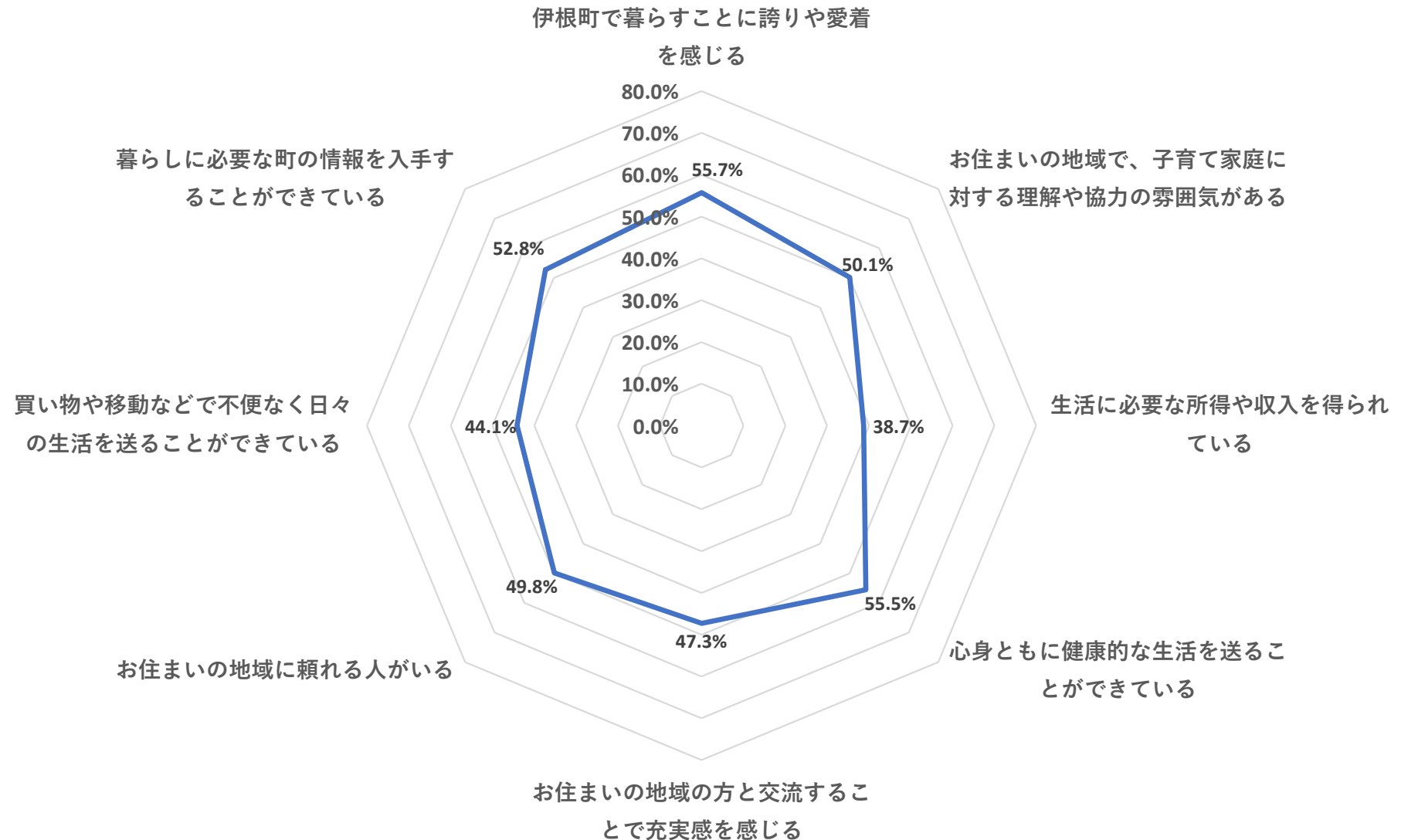
◆ 町民の実感①(25年度・n=491)



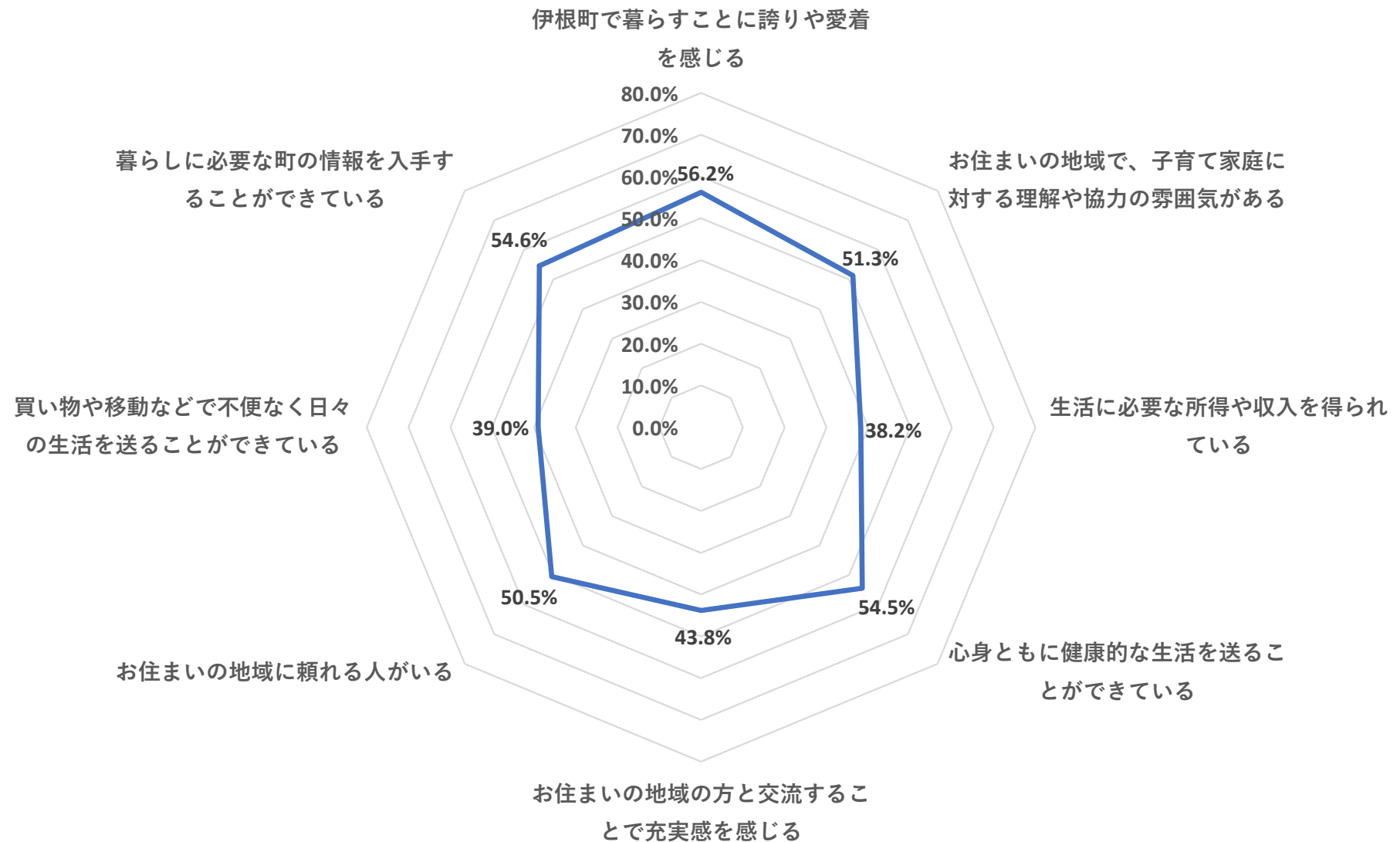
◆ 町民の実感②(24年度・n=482)



◆ 町民の実感③(25年度・n=491)



◆ 町民の実感④(24年度・n=482)



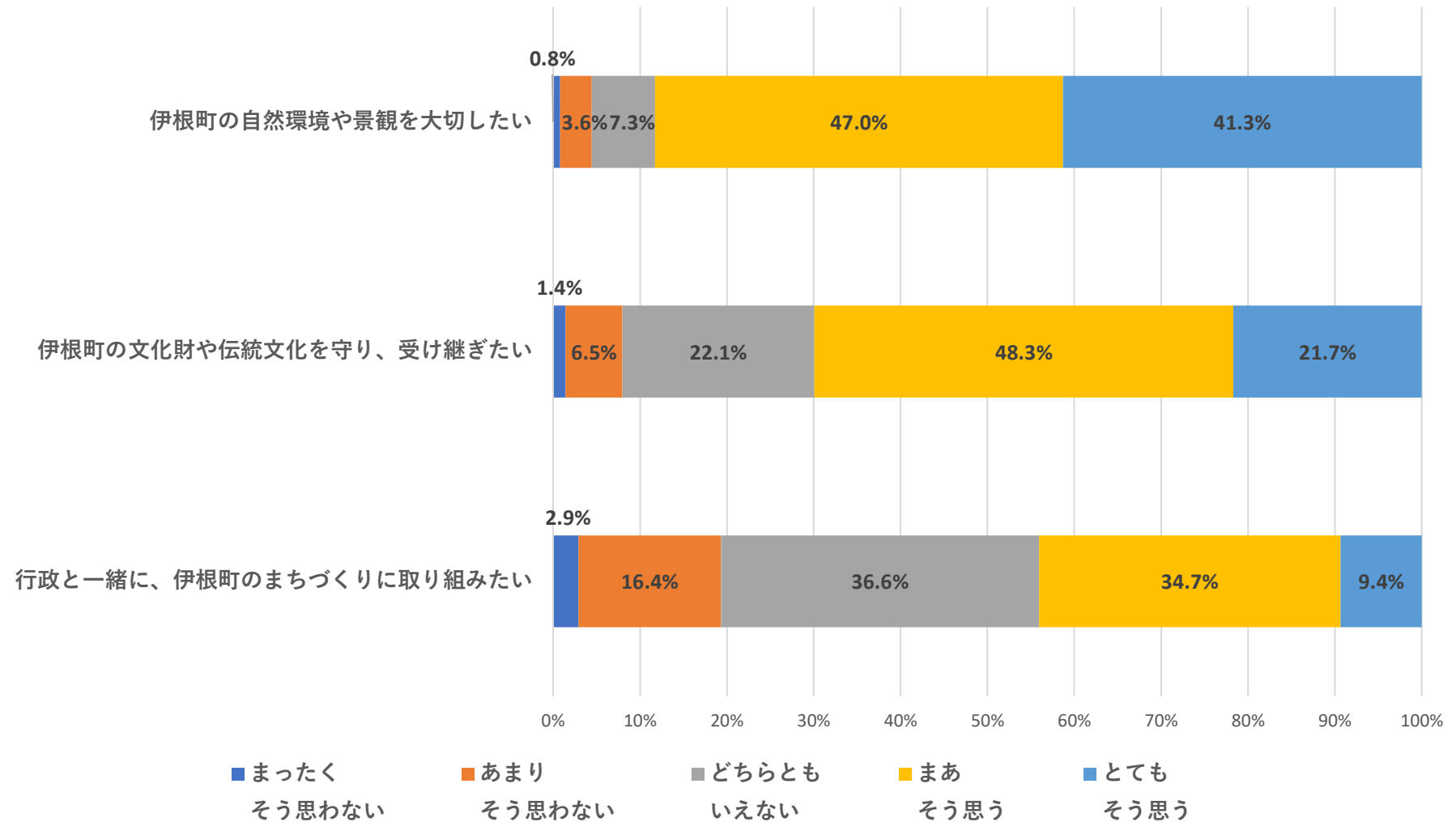
◆ 町民の実感の変化(24→25年度)

実感項目	24年度	25年度	変化	判定
誇りや愛着を感じる	56.2%	55.7%	-0.5pt	→ 横ばい
子育て家庭への理解・協力の雰囲気	51.3%	50.1%	-1.2pt	→ 横ばい
必要な所得や収入を得られている	38.2%	38.7%	+0.5pt	→ 横ばい
心身ともに健康的な生活	54.5%	55.5%	+1.0pt	→ 横ばい
地域の方と交流することで充実感	43.8%	47.3%	+3.5pt	↑ 増加
地域に頼れる人がいる	50.5%	49.8%	-0.7pt	→ 横ばい
買い物や移動で不便なく生活	39.0%	44.1%	+5.1pt	↑ 増加
暮らしに必要な町の情報を入手	54.6%	52.8%	-1.8pt	→ 横ばい

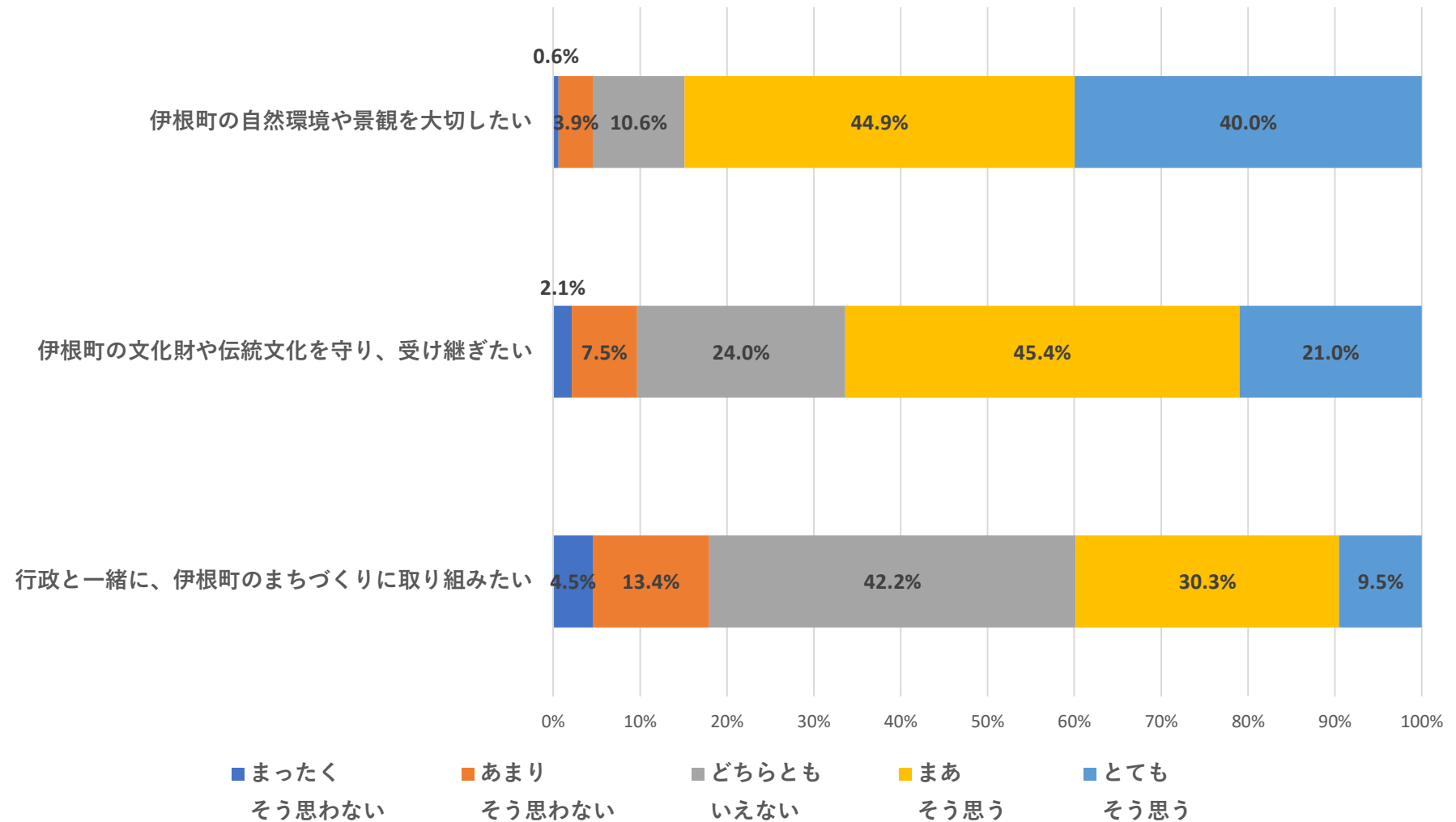
※ 肯定的回答(「まあそう思う」+「とてもそう思う」)の合計値で比較

※ 変化幅が概ね±2pt未満を「横ばい」と表記

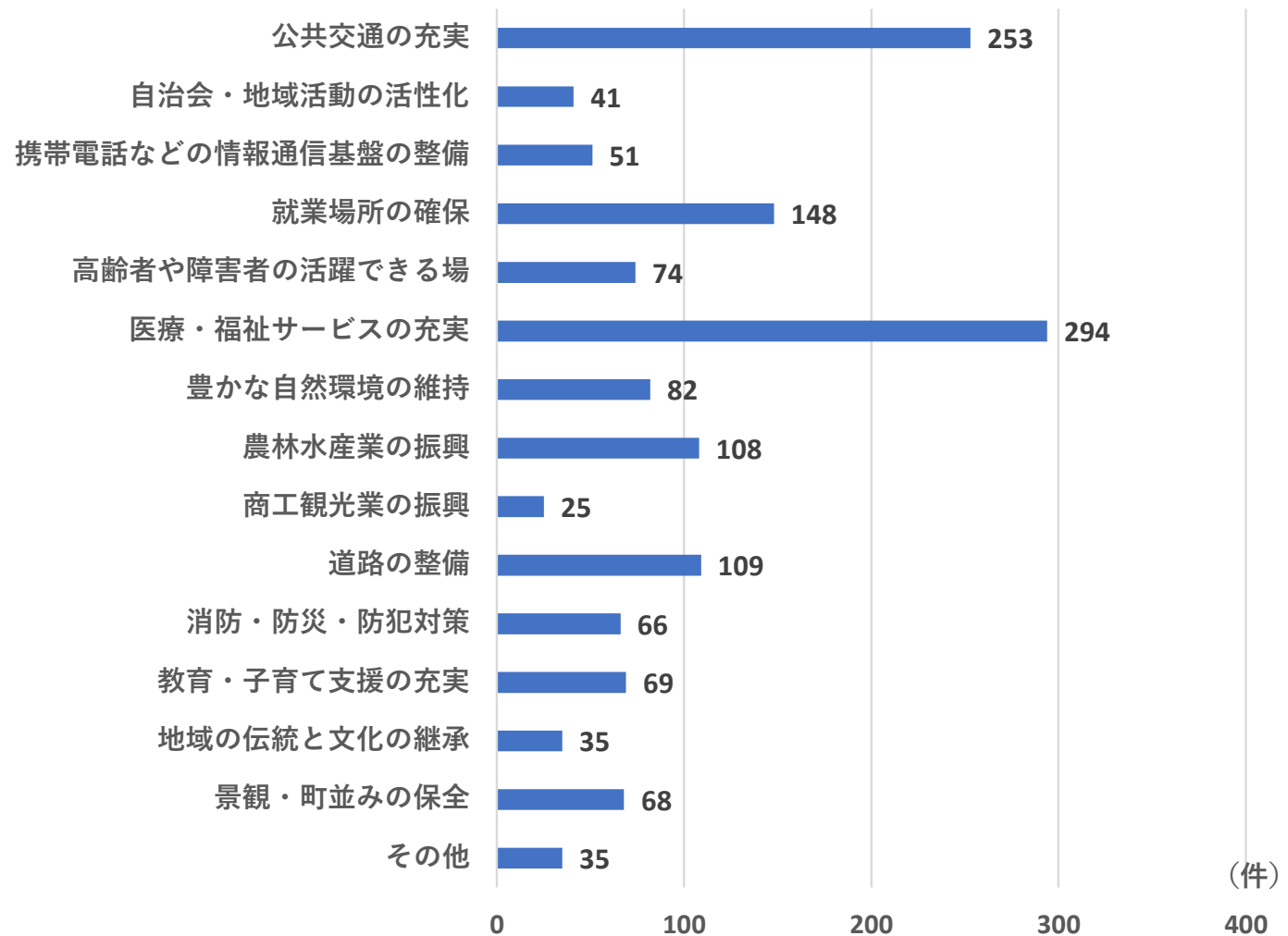
◆ 町民の行動・意向①(25年度・n=494)



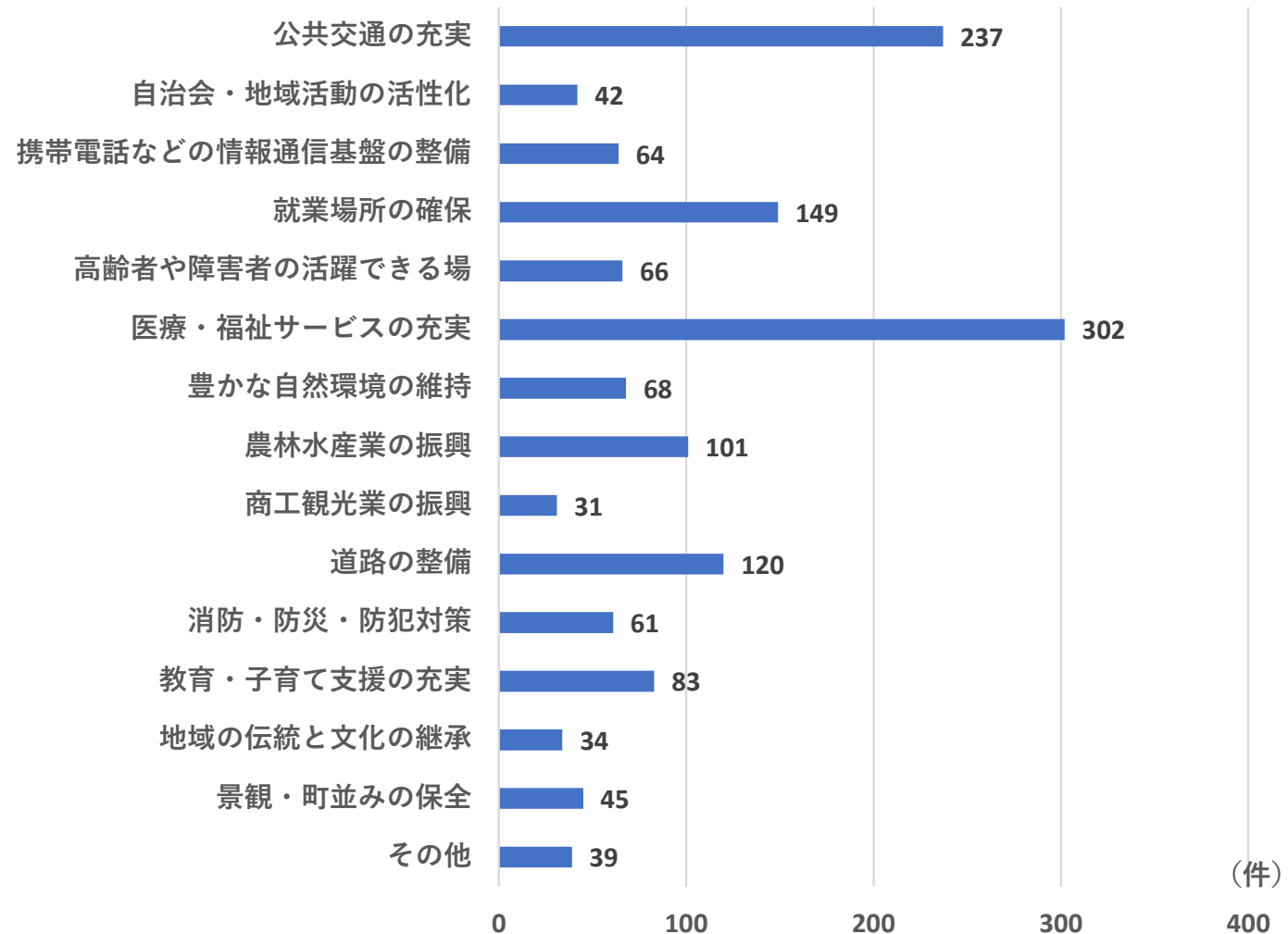
◆ 町民の行動・意向②(24年度・n=483)



◆ 伊根町で暮らすために必要なこと(複数回答・25年度・n=513)

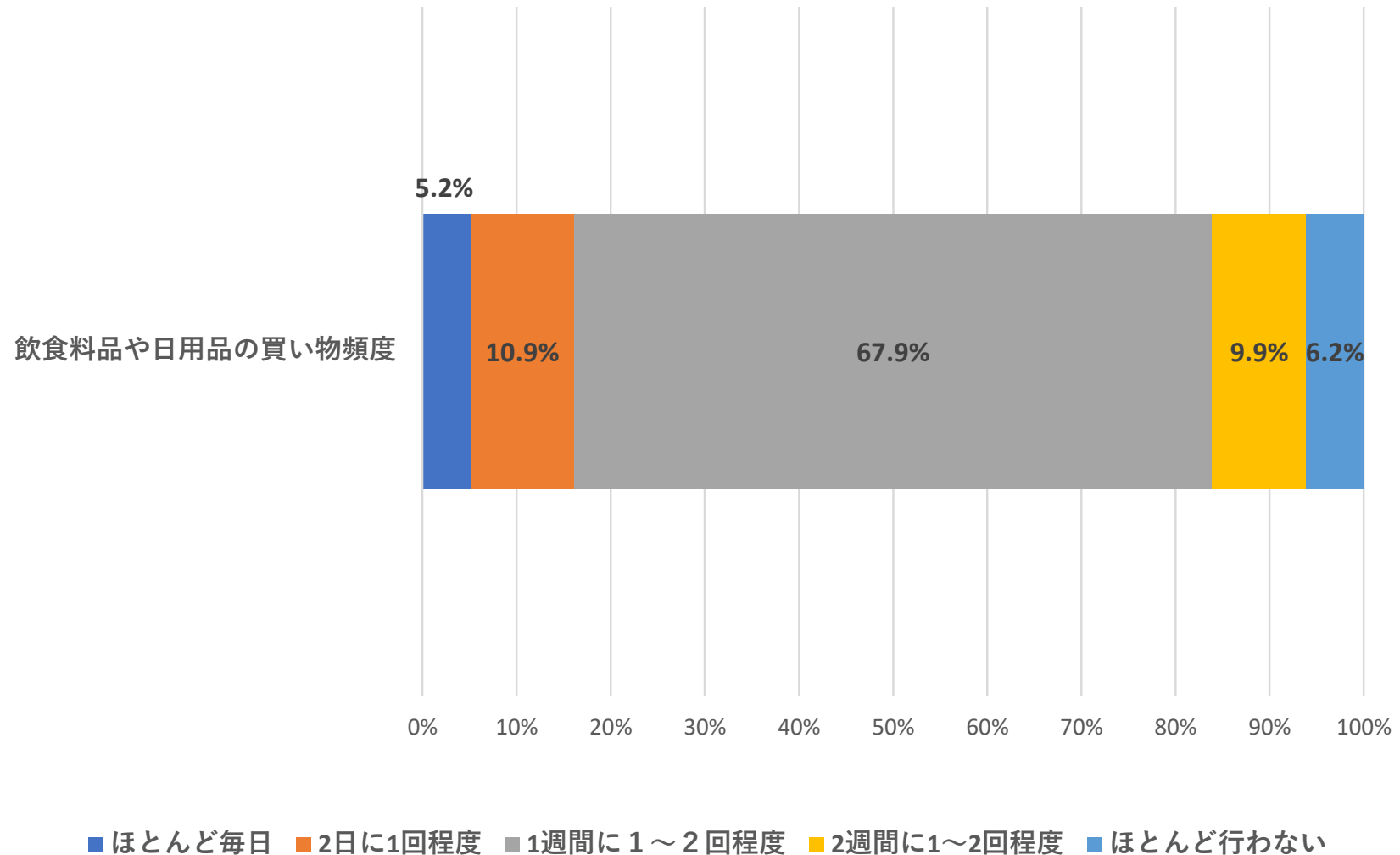


◆ 伊根町で暮らすために必要なこと(複数回答・24年度・n=485)



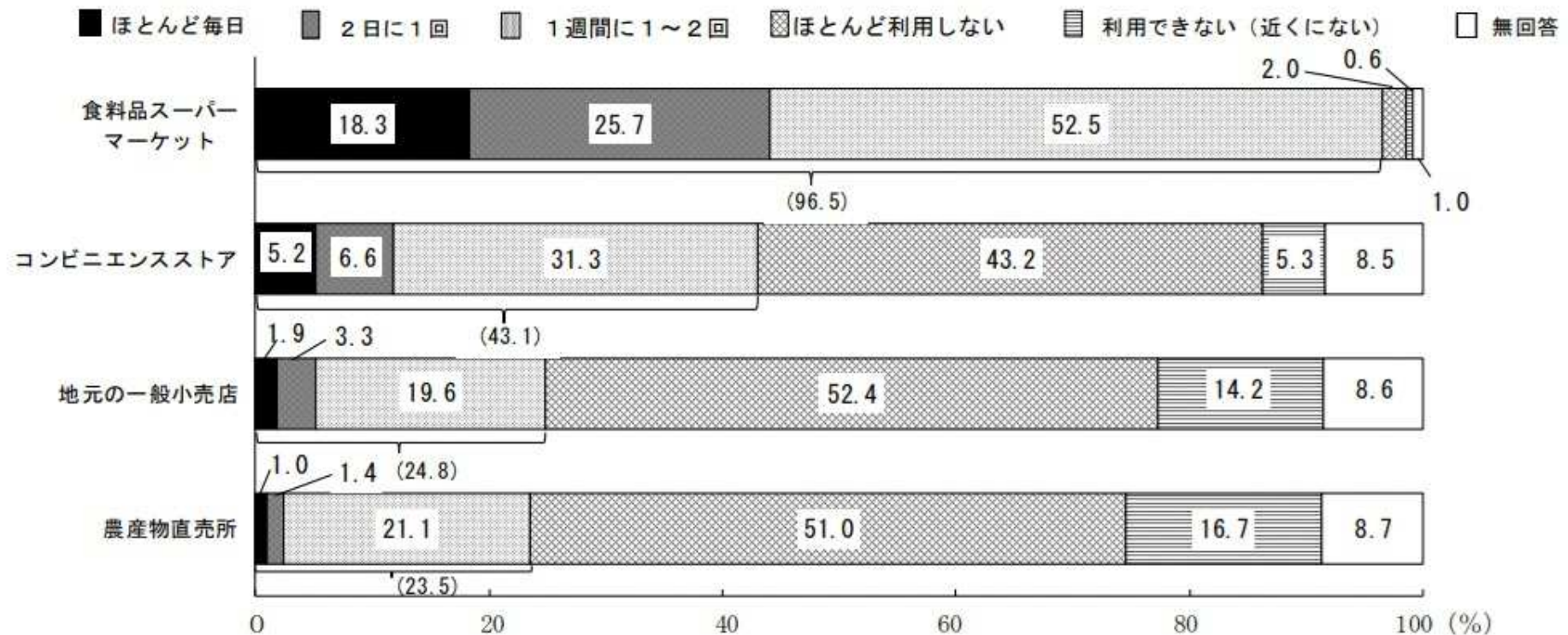
5. 買い物に関する実態について

◆ 飲食料品や日用品の買い物頻度(n=504)



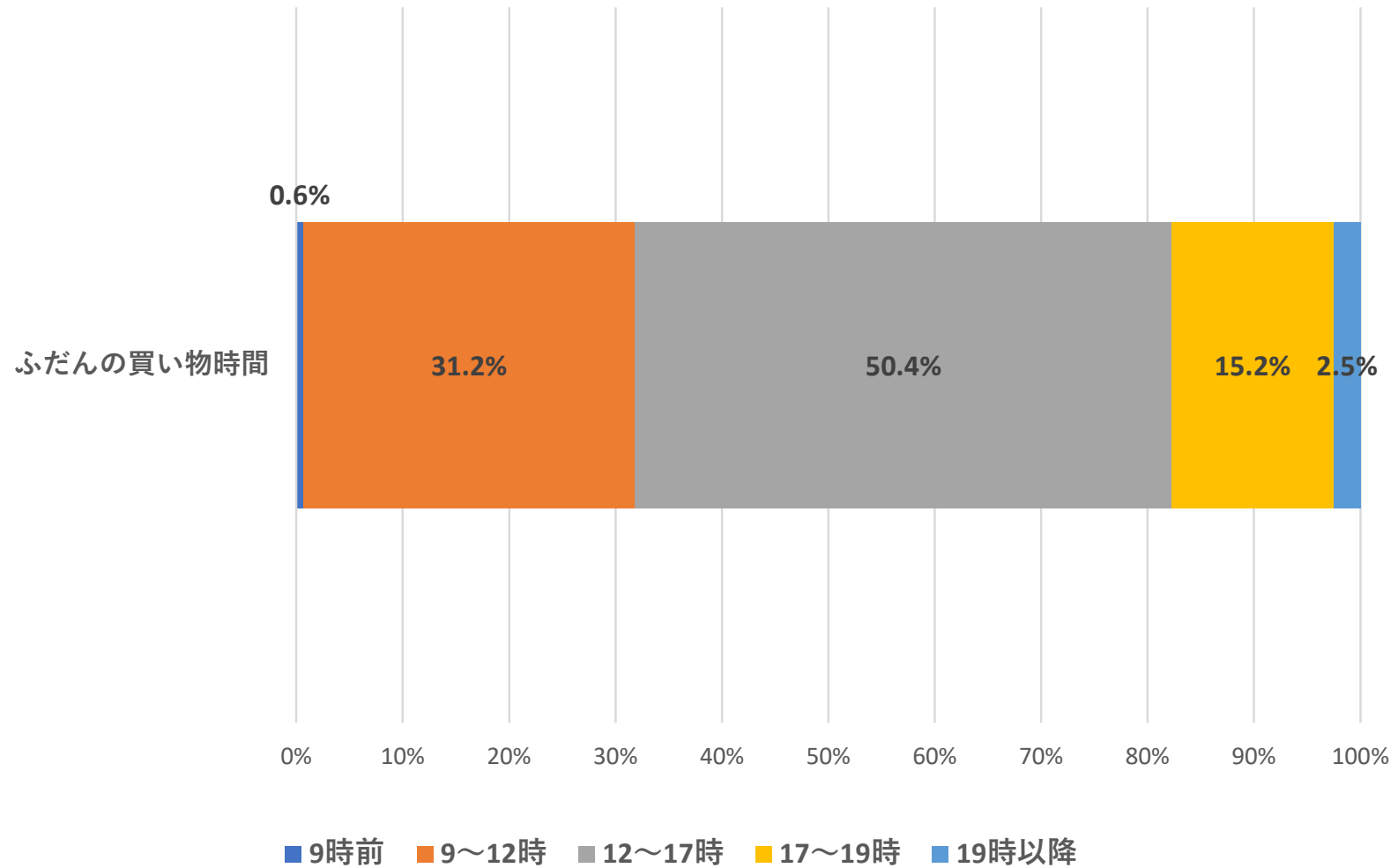
◆ 参考：農水省「買い物と食事に関する意識・意向調査(2018年度)①

図1 利用頻度

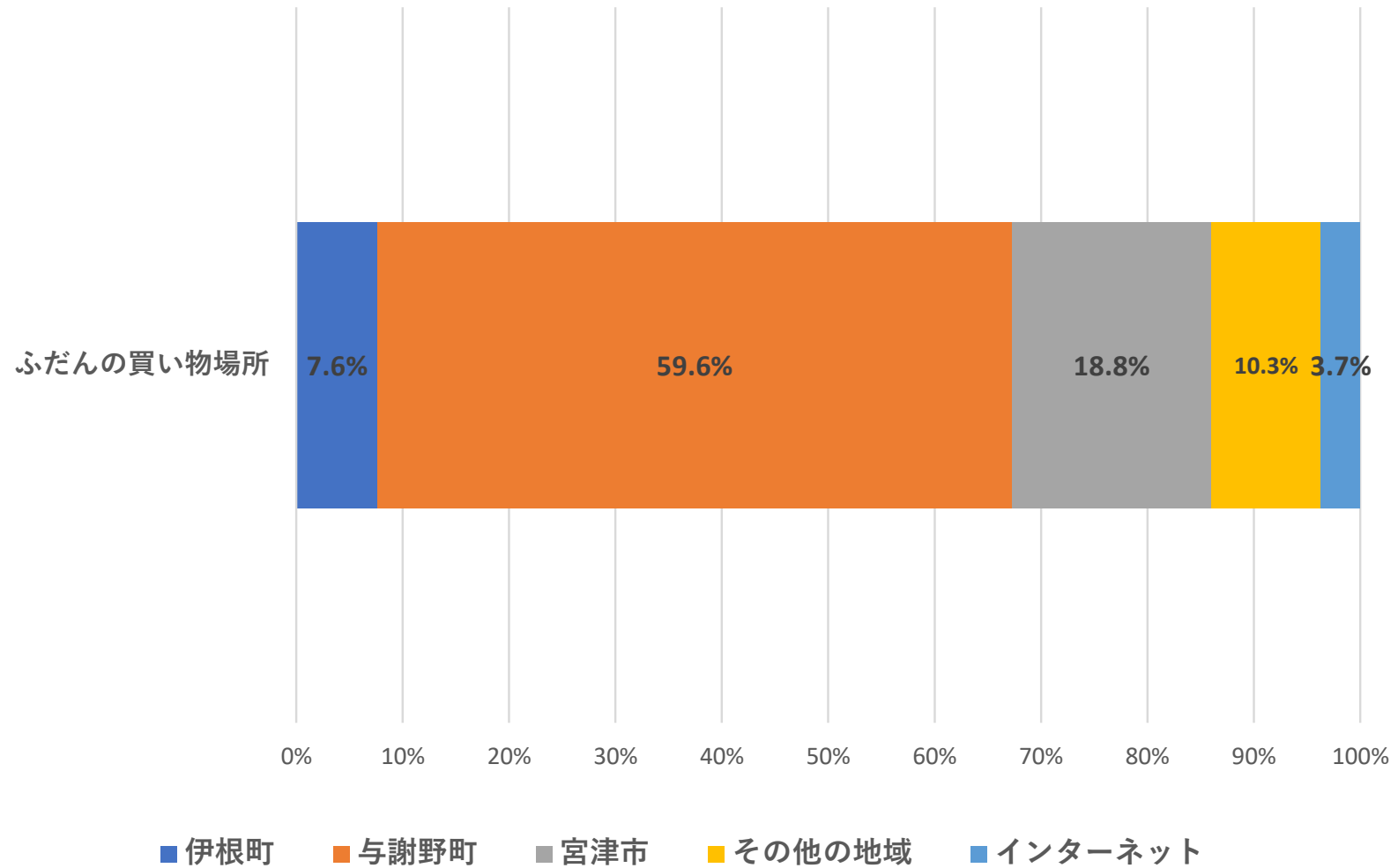


回答者数：2,459人
(100.0%)

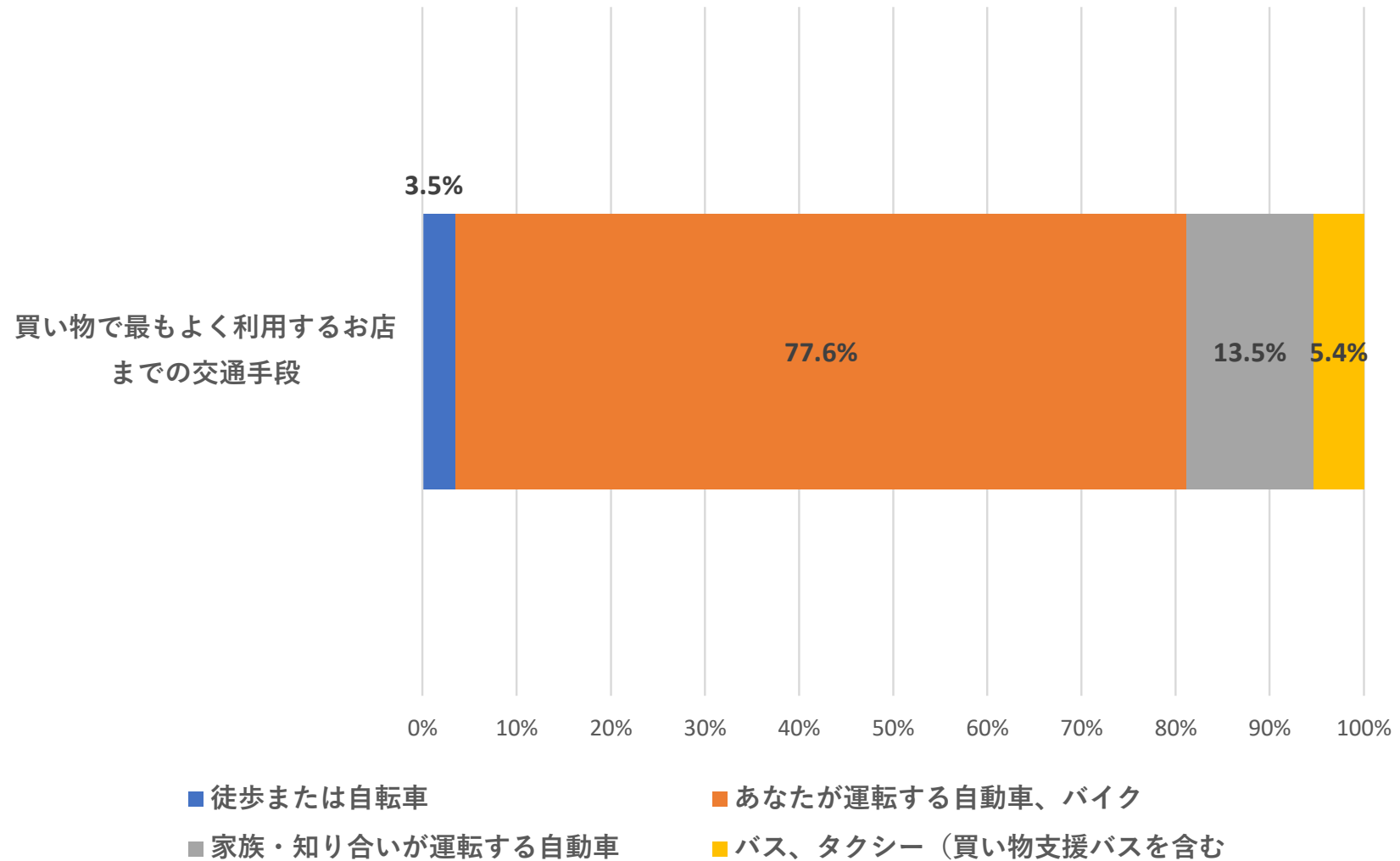
◆ ふだんの買い物時間(n=474)



◆ ふだんの買い物場所(n=458)

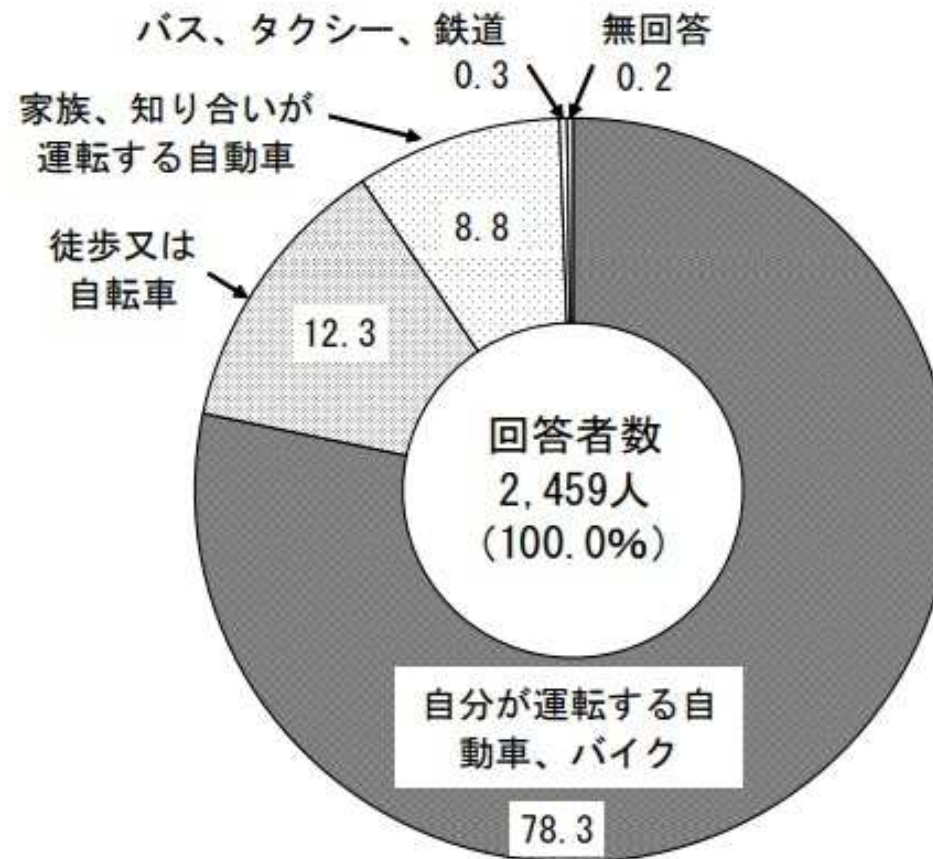


◆ お店までの交通手段(n=483)

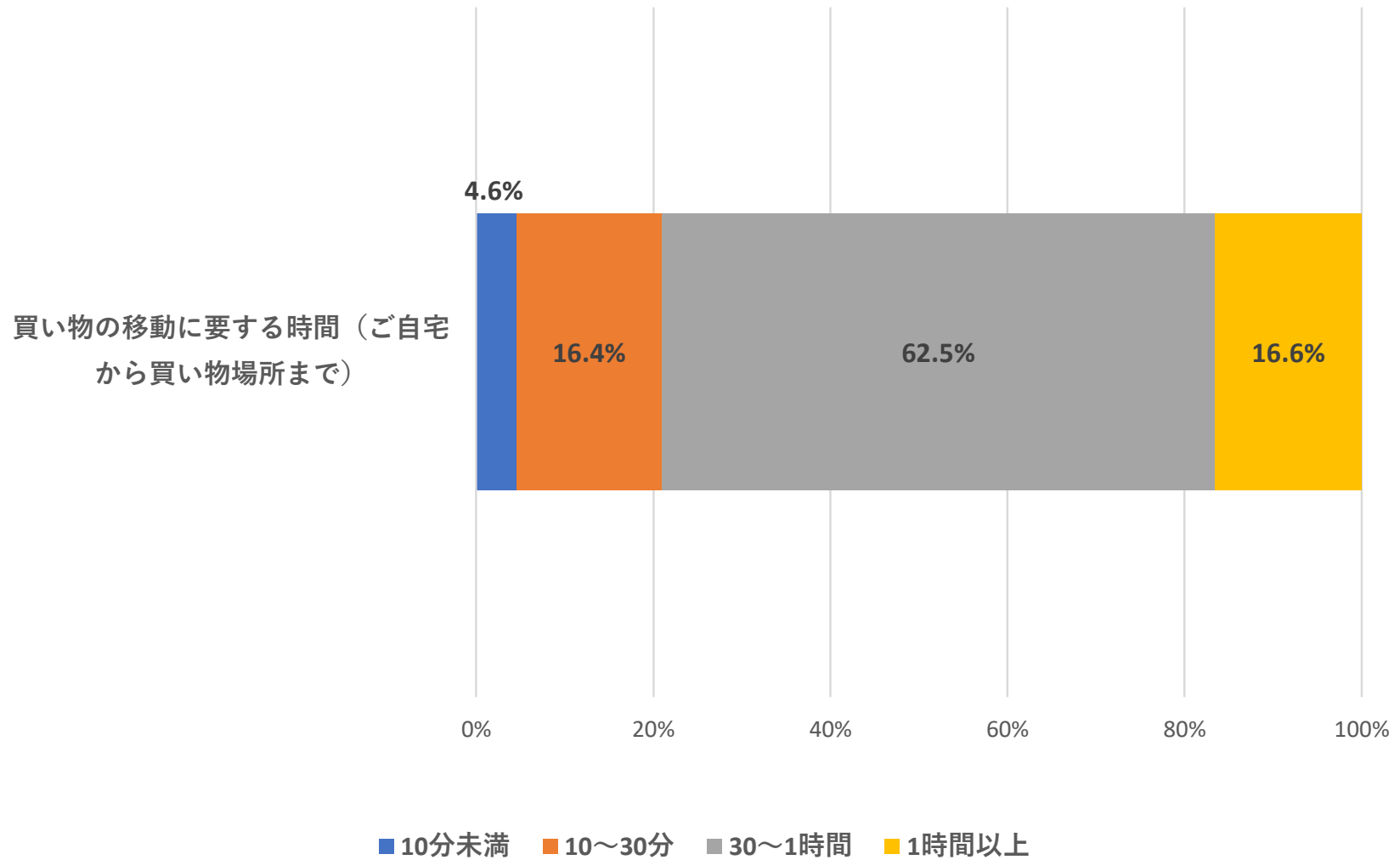


◆ 参考：農水省「買い物と食事に関する意識・意向調査(2018年度)②

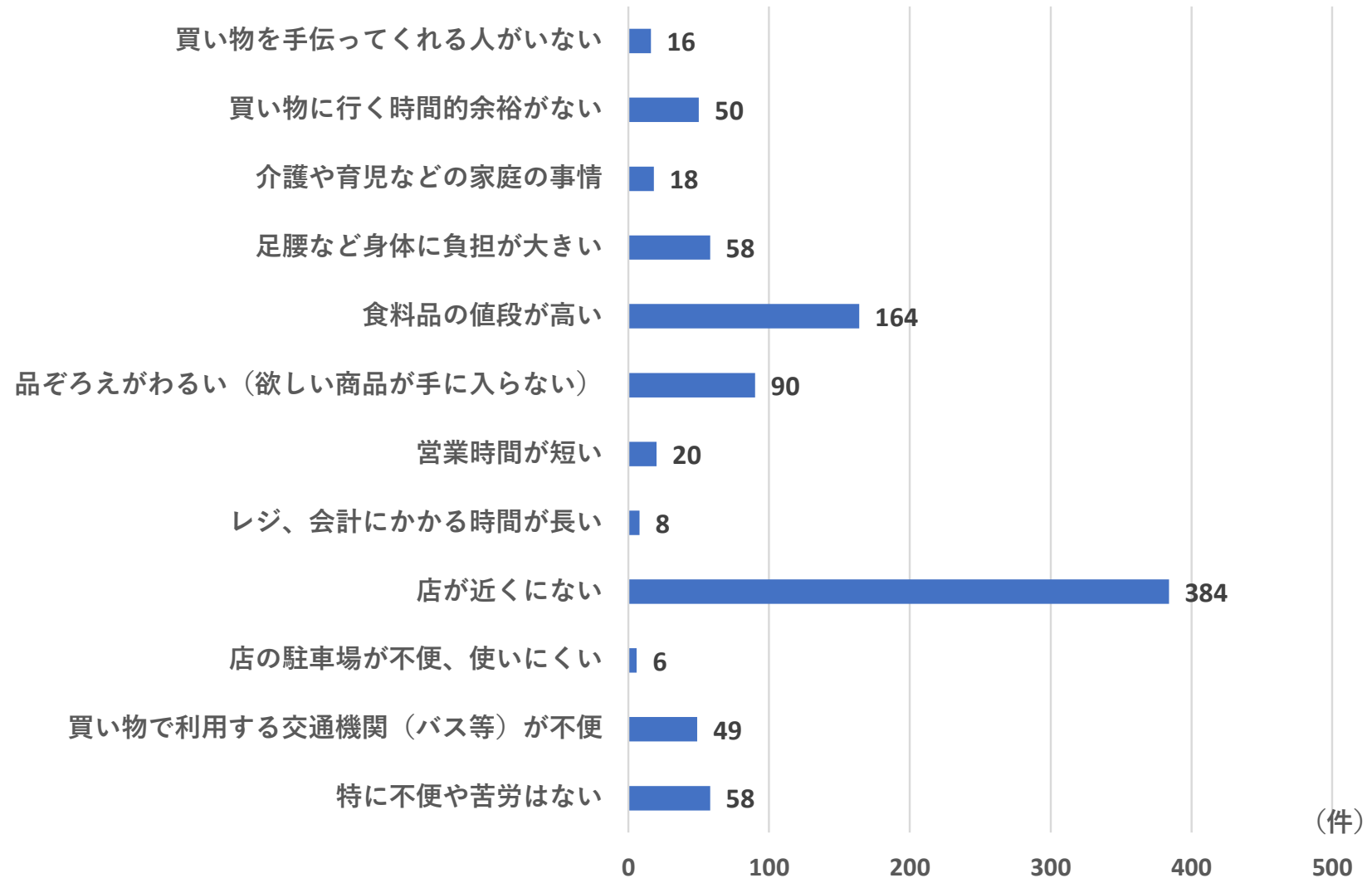
図5 最もよく利用するお店までの交通手段



◆ お店までの移動時間(n=483)

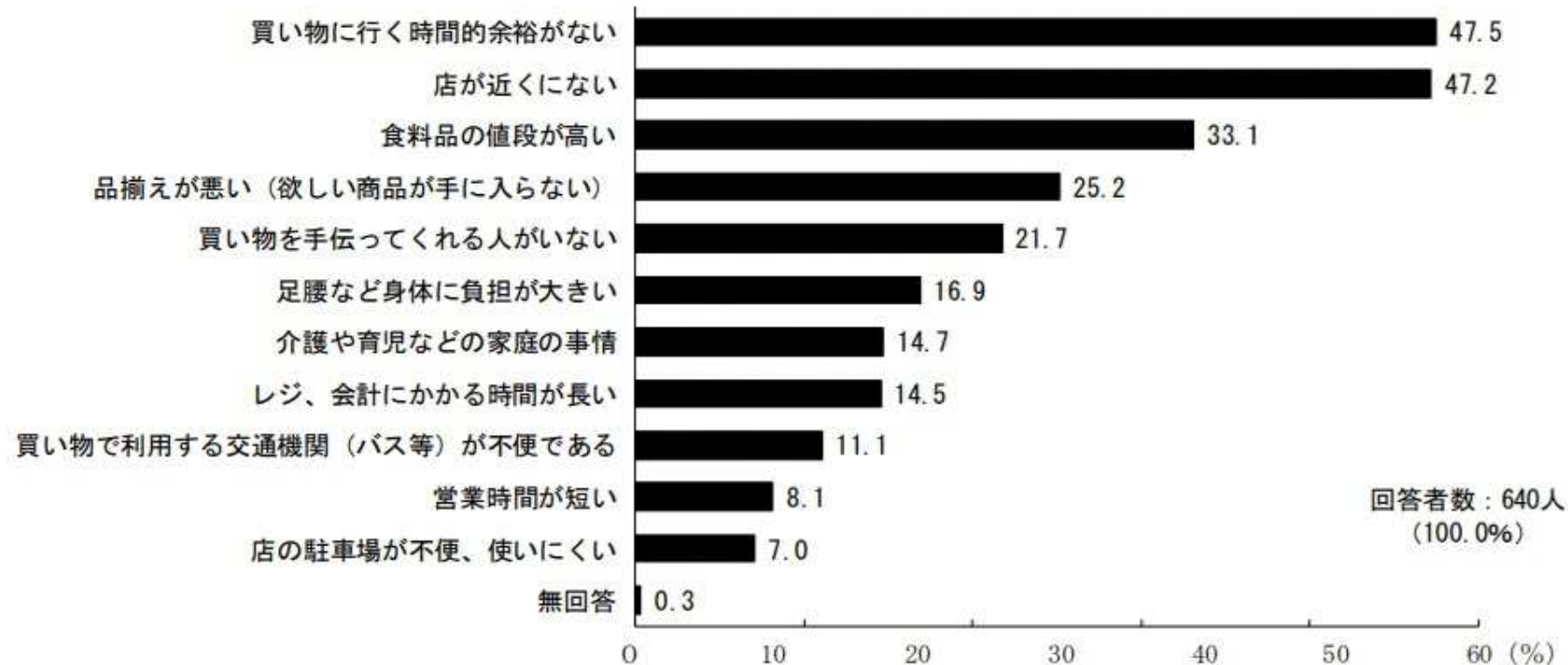


◆ 買い物での不便や苦勞(n=474)



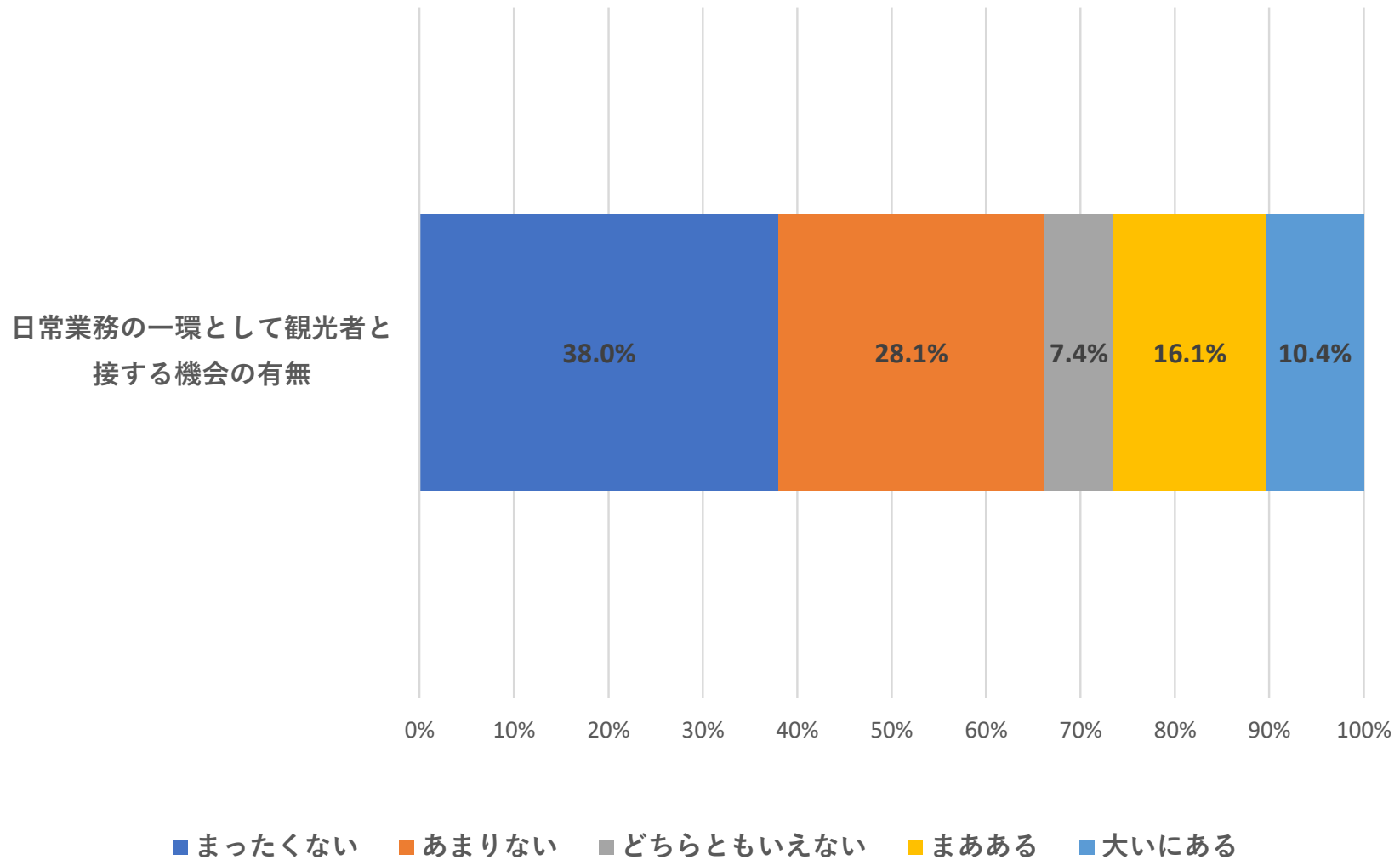
◆ 参考：農水省「買い物と食事に関する意識・意向調査(2018年度)③

図7 買い物でどのような不便や苦労があるか（複数回答）

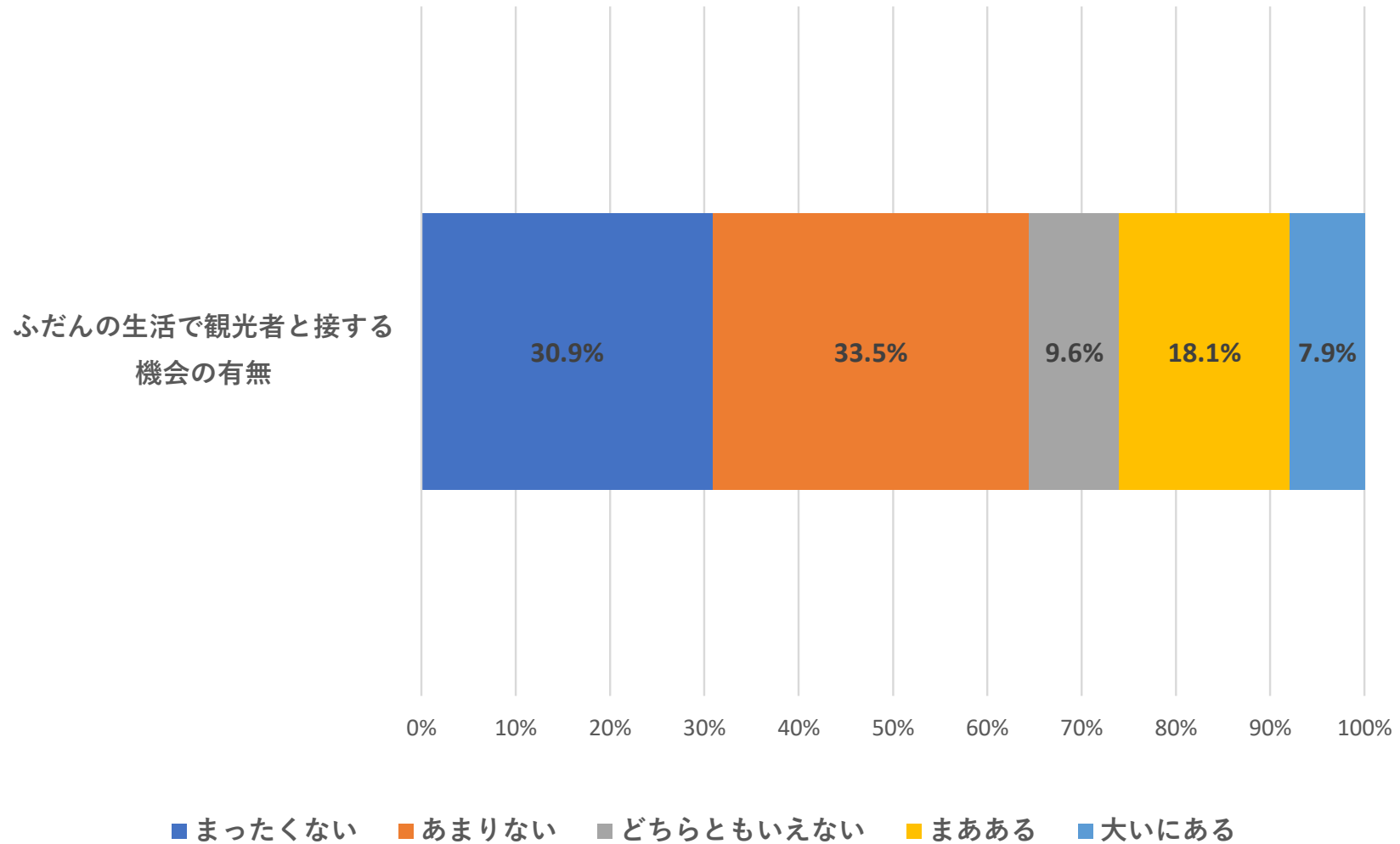


6. 観光者の受入について

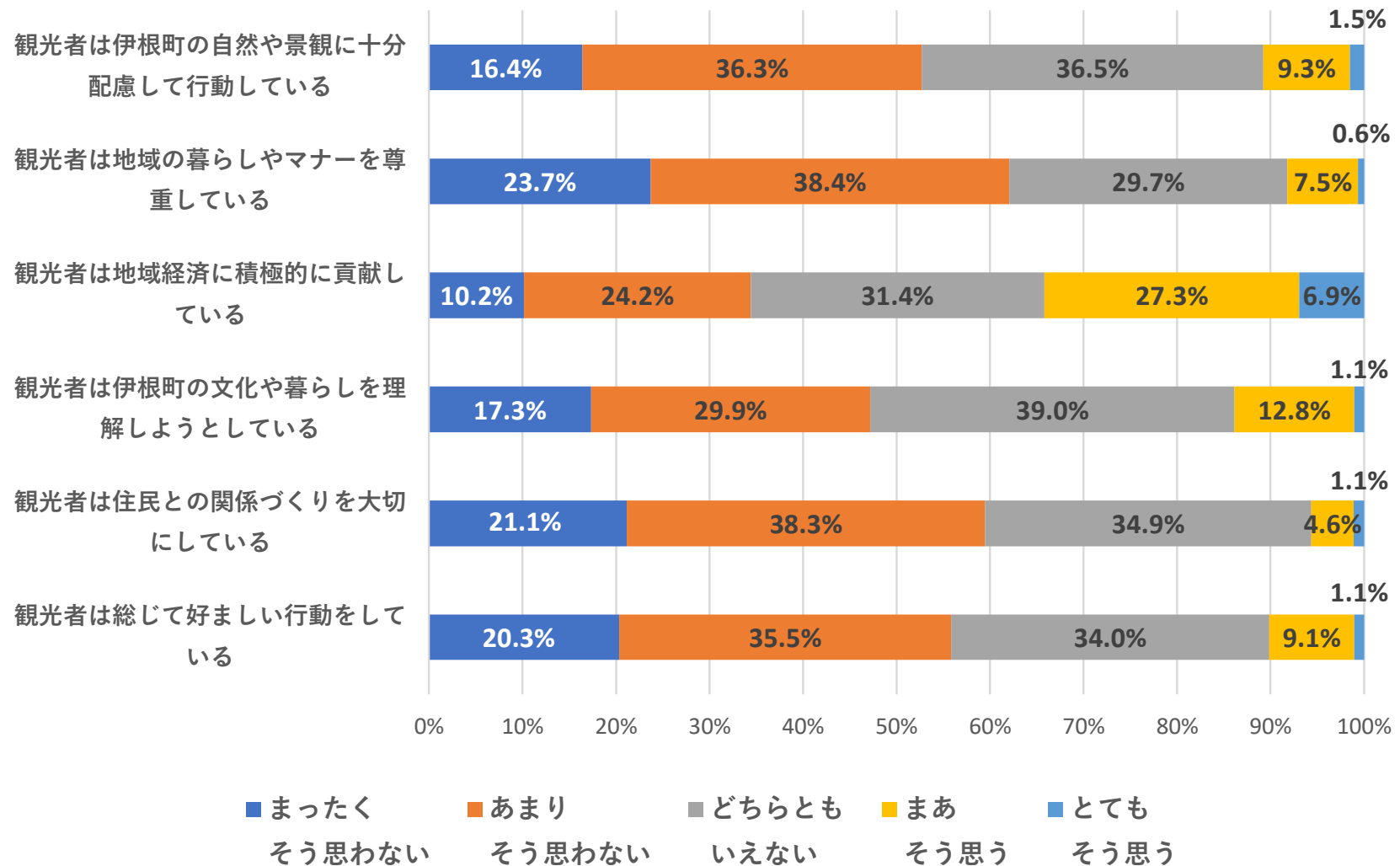
◆ 日常業務での観光者との接触(n=502)



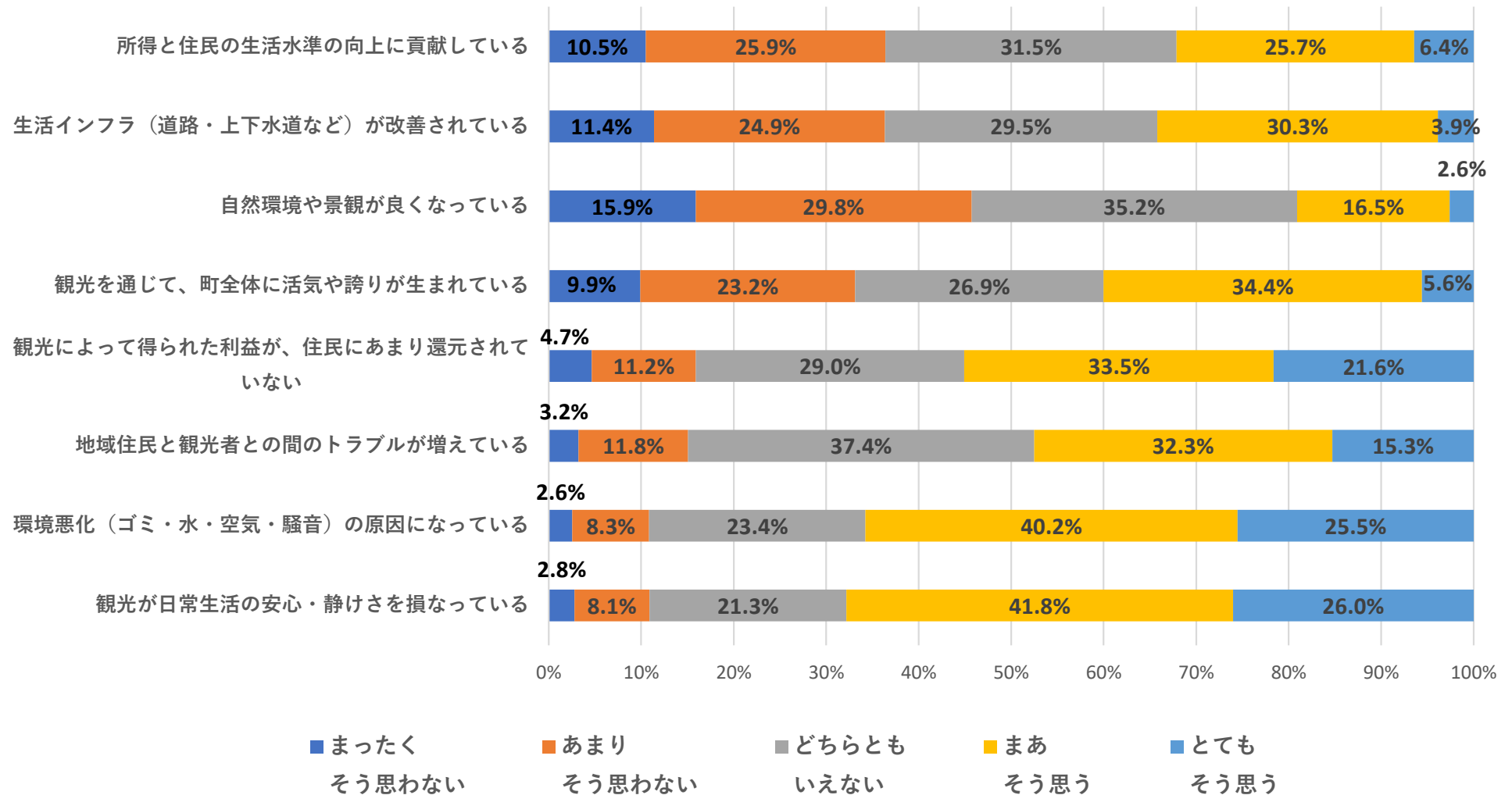
◆ ふだんの生活での観光者との接触(n=492)



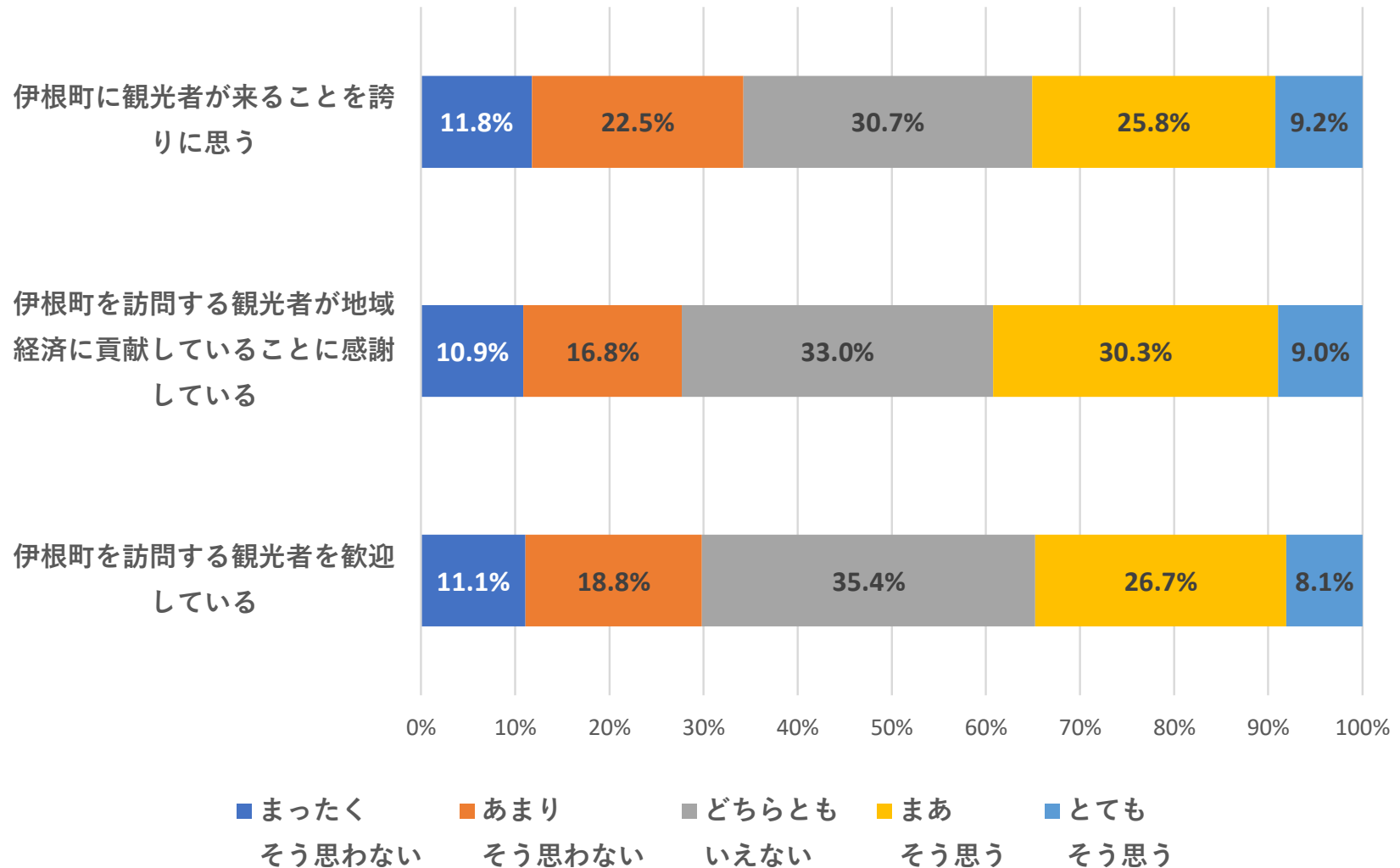
◆ 観光者の行動への評価(n=464)



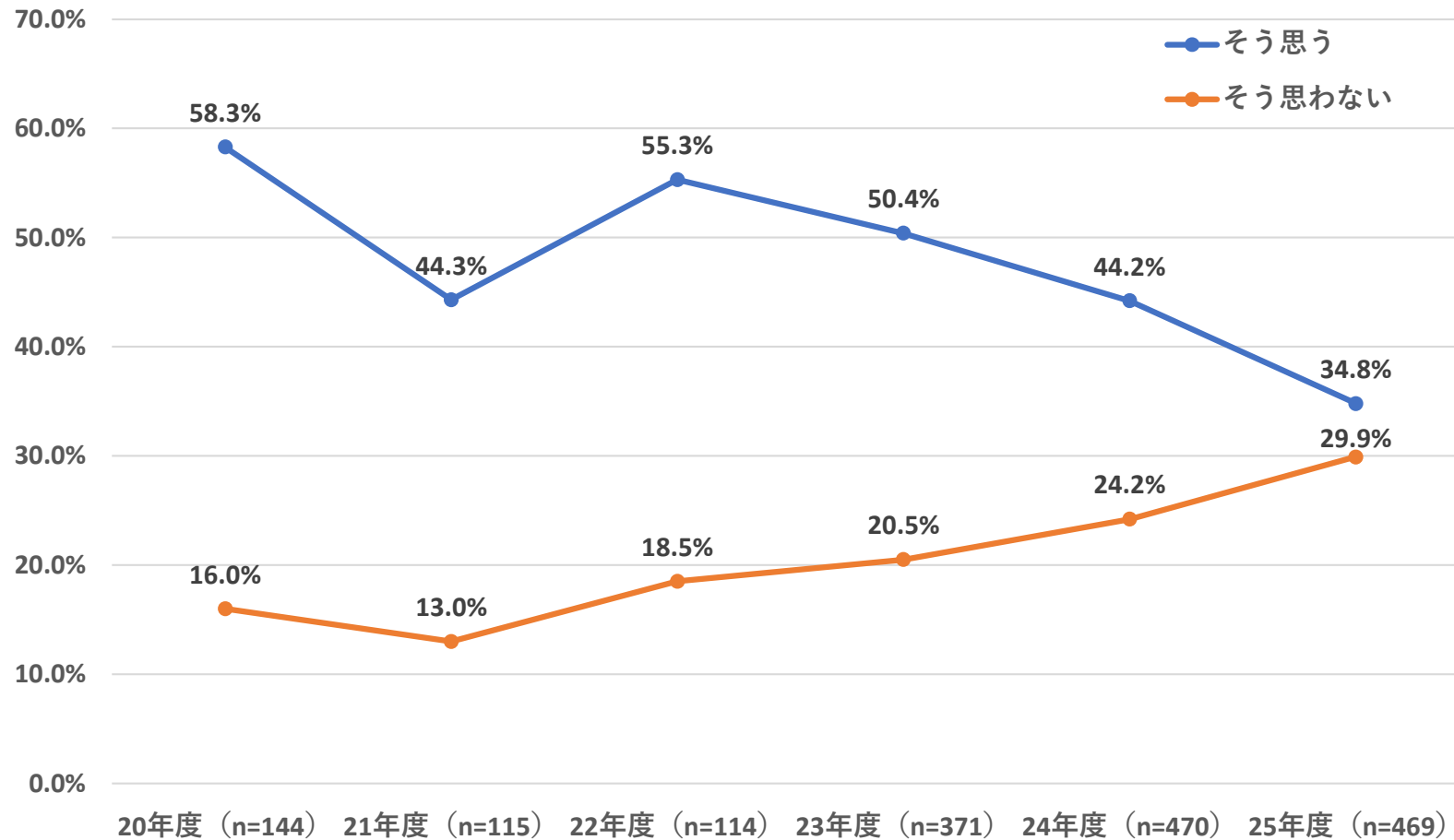
◆ 観光振興が地域に与える影響(n=472)



◆ 観光者への歓迎意向(n=476)



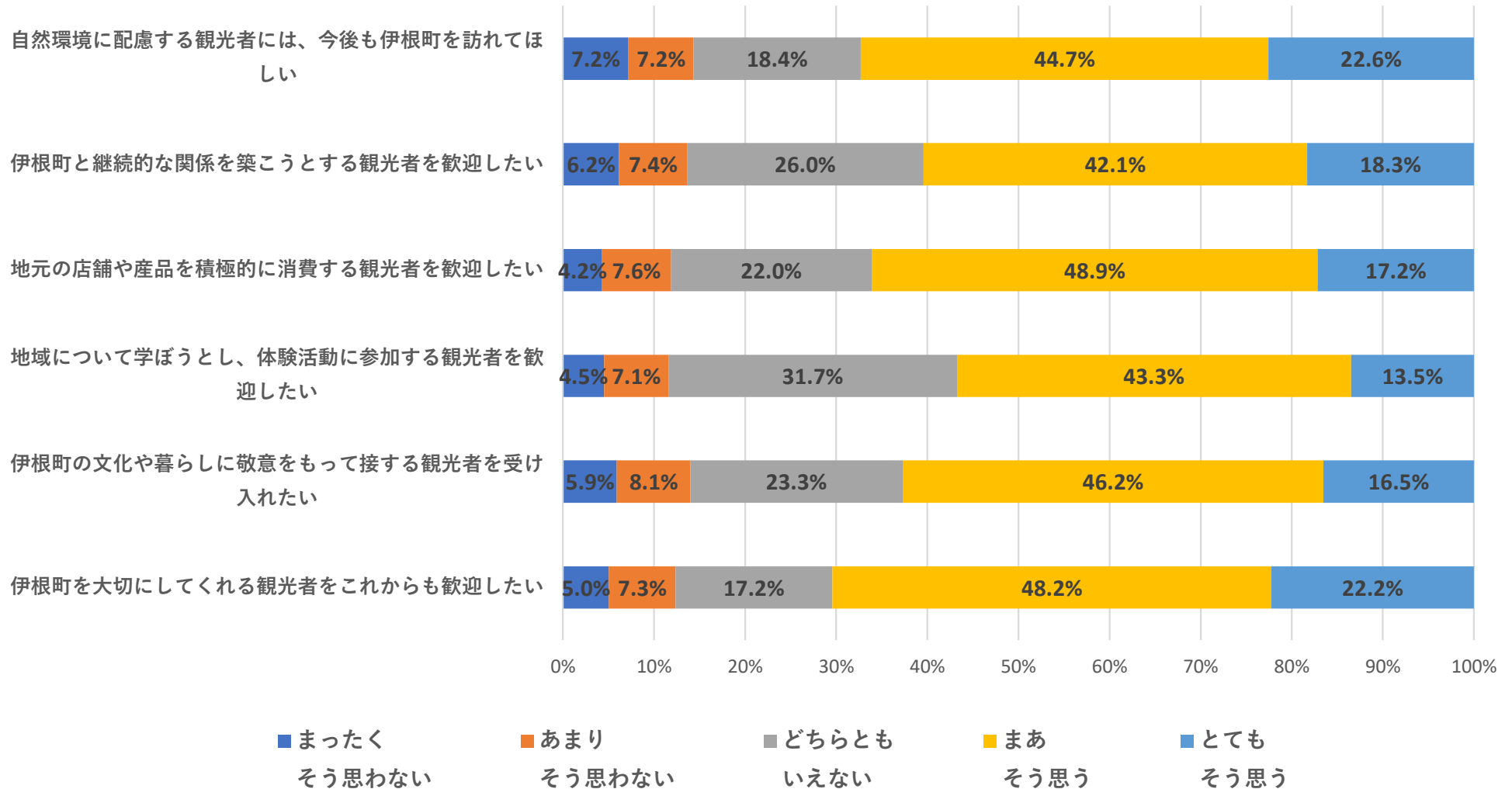
◆ 観光者受入の歓迎意向(20~25年度)



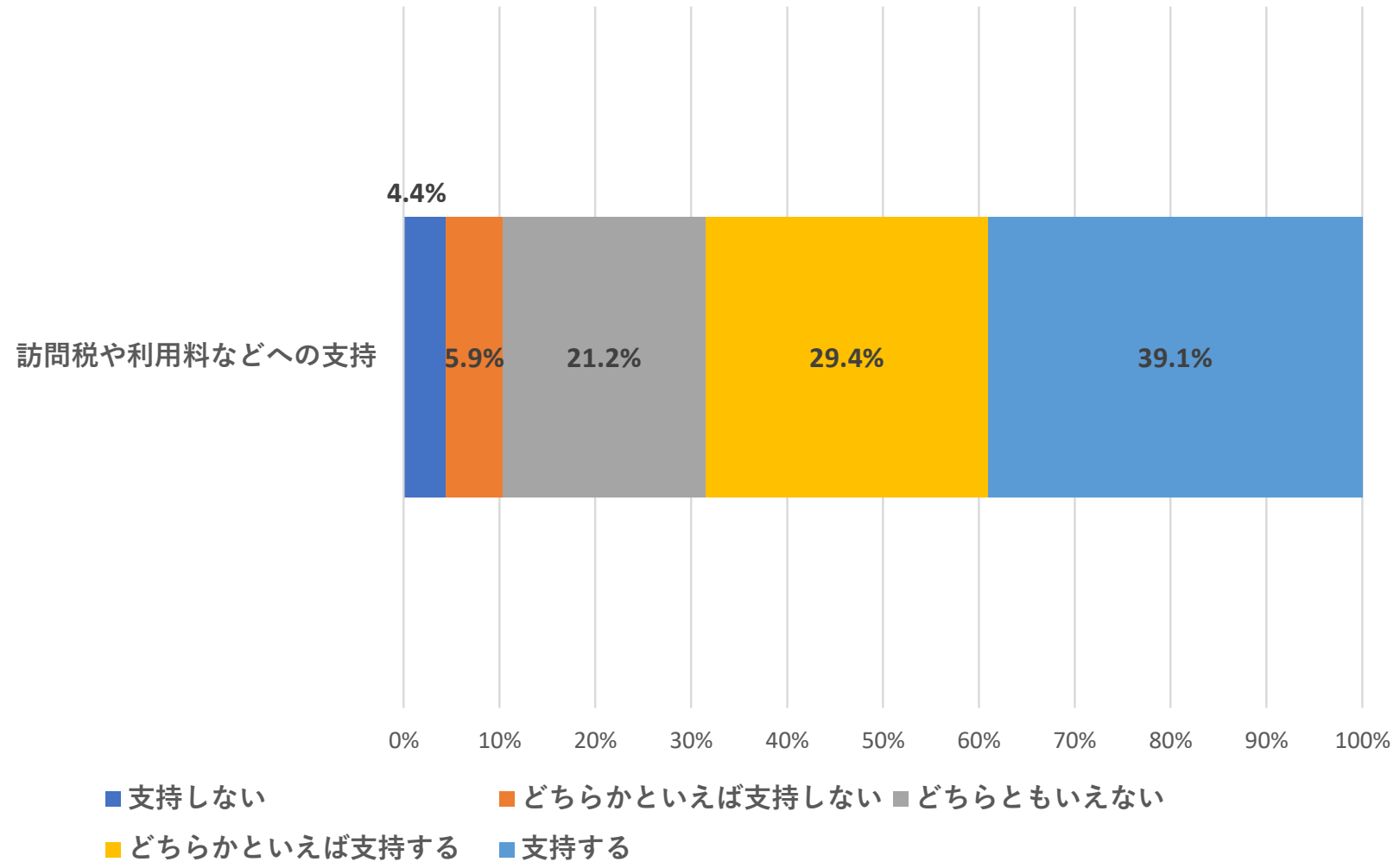
※ 「そう思う」は「とてもそう思う」と「そう思う」の合計値。

※ 「そう思わない」は「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計値。

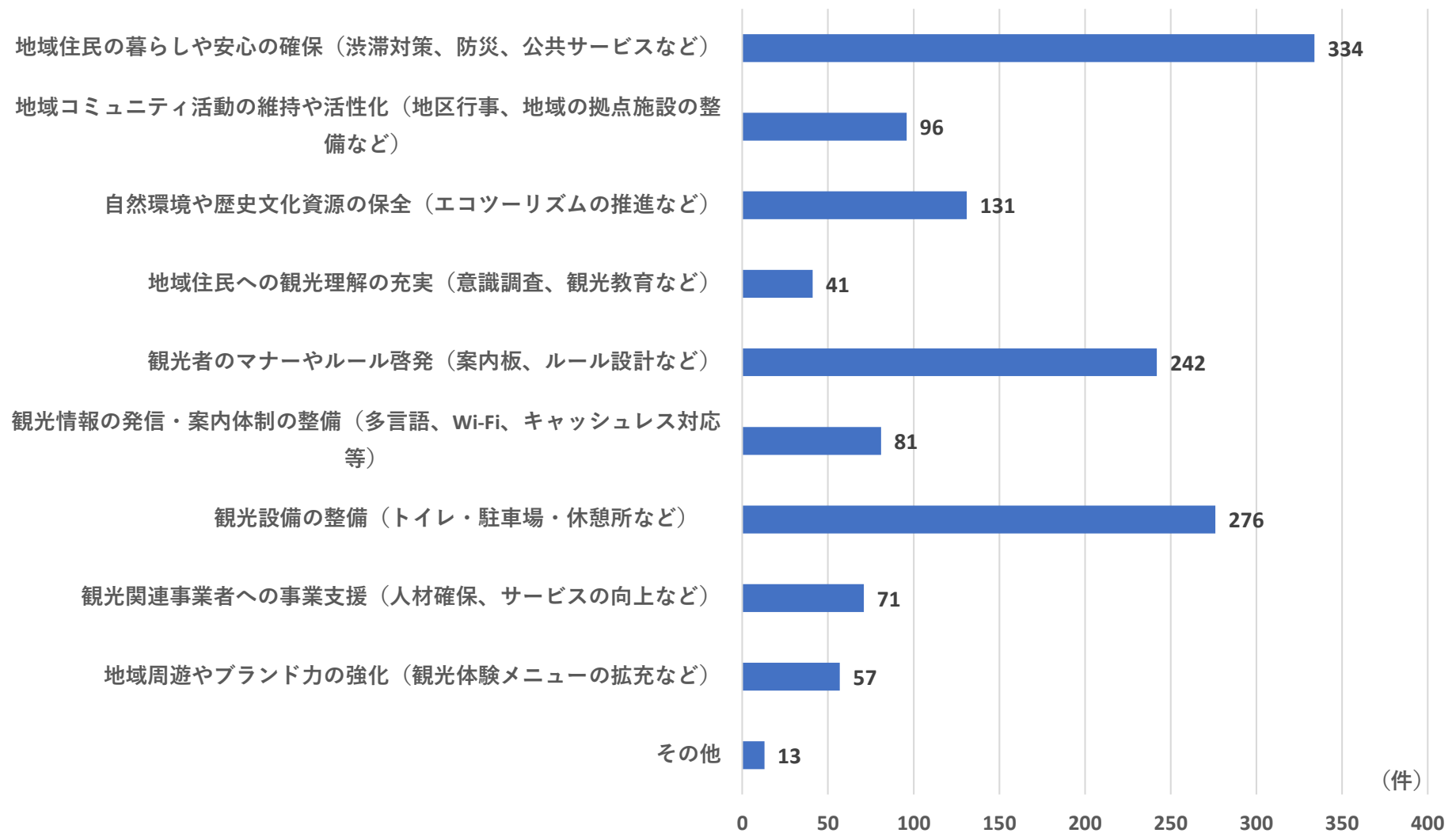
◆ サステナブルな旅行者を求める意向 (n=477)



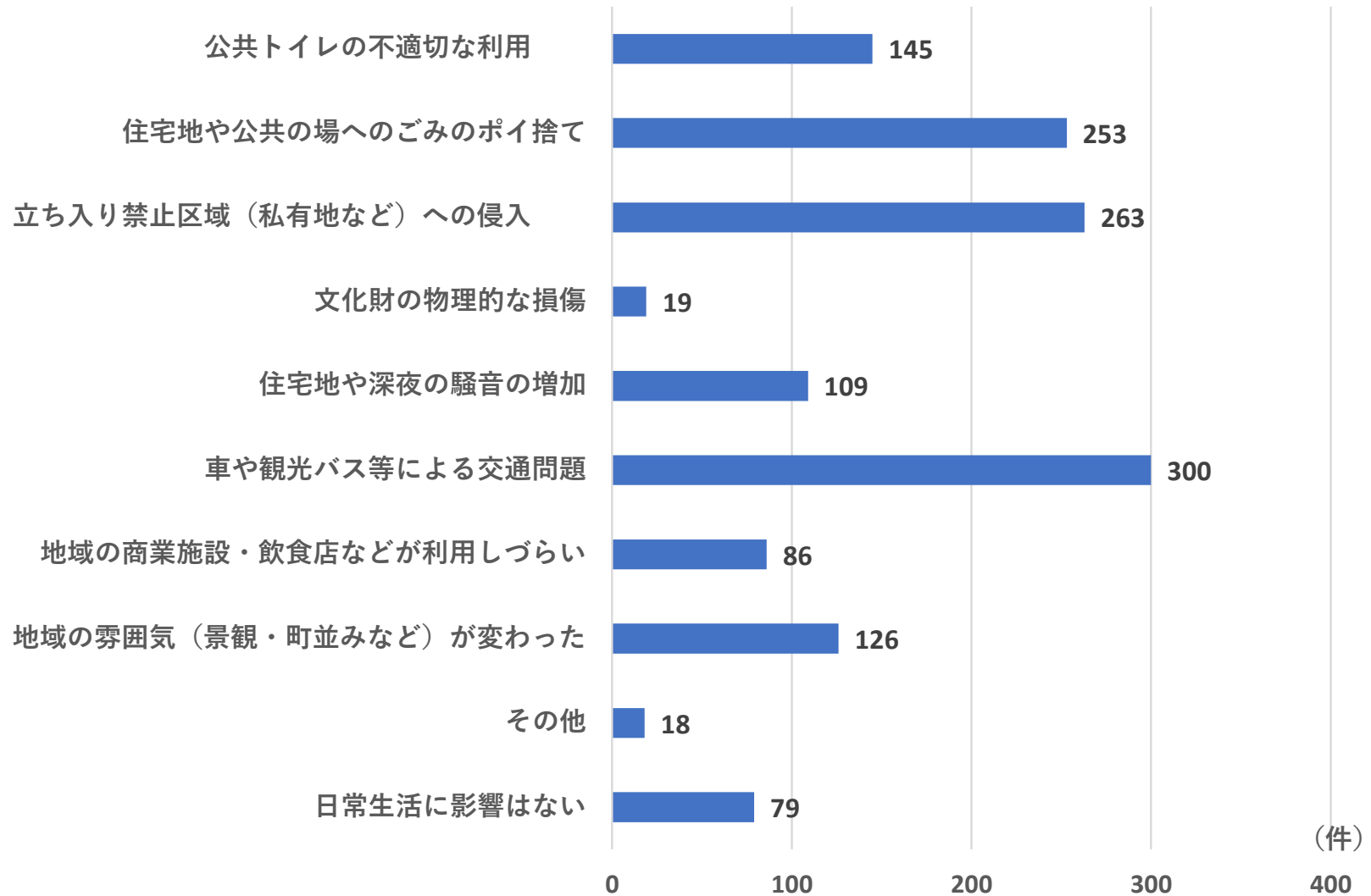
◆ 訪問税等の支持意向 (n=476)



◆ 訪問税等の使途（複数回答・n=513）



◆ 観光者の来訪による日常生活への影響 (n=513)



◆ 地域愛着・感情的連帯感スコア

指標名	満点	n	25年度 平均値	参考 24年度 平均値
地域愛着スコア	5点	464	3.26	3.28
感情的連帯感スコア	5点	451	2.85	2.95

7. まとめ

◆ 調査結果のまとめ①

- 伊根町の住みやすさへの肯定的評価（「とてもそう思う」+「そう思う」）は55.3%であった。
- 生活満足度(6.28点)・健康状態(6.41点)・幸福度(6.80点)はいずれも前年度より上昇し、全国平均(満足度5.79・健康5.51)を上回っていた。
- 到達度評価をみると、「他の地域に誇れる町である」、「子育てしやすい町である」が、高く評価されていた。

◆ 調査結果のまとめ②

- その一方で、「生涯にわたって学習できる環境が整っている町である」、「文化活動やスポーツに取り組みやすい町である」、「経済的な豊かさを感じられる町である」は評価が低かった。
- 昨年度からの経年変化については、「防災・防犯等の観点から安全・安心な町である」、「子育てしやすい町である」の評価が上昇していた。一方で、「経済的な豊かさを感じられる町である」は低下していた。

◆ 調査結果のまとめ③

- 町民の実感をみると、「伊根町で暮らすことに誇りや愛着を感じる」の評価が最も高く、「心身ともに健康的な生活を送ることができている」、「暮らしに必要な情報を入手できている」が続いた。
- その一方で、「生活に必要な所得や収入が得られている」の評価が最も低かった。
- 昨年度からの経年変化については、「買い物や移動などで不便なく日々の生活を送ることができている」の評価が上昇していた。

◆ 調査結果のまとめ④

- 伊根町で暮らすために必要なことをみると、「医療・福祉サービスの充実」が最も多く、「公共交通の充実」、「就業場所の確保」が続いた。
- 飲食料品や日用品の買い物頻度は、全国と比べて、1週間に1～2回と回答する割合が高かった。
- ふだんの買い物時間は「12～17時」が、買い物場所は「与謝野町」が、店舗までの移動時間は「30分～1時間」が、それぞれ最も多かった。

◆ 調査結果のまとめ⑤

- 買い物での不便や苦勞は、「店が近くにない」が最も多く、「食料品の値段が高い」、「品ぞろえがわるい」が続いた。全国調査の結果と同じ傾向にあった。
- 日常業務、およびふだんの生活での観光者との接触機会があると回答したのは26%程度であった。
- 観光者の行動への評価をみると、「地域経済に積極的に貢献している」には高く評価していた一方で、「住民との関係づくりを大切にしている」に対しては最も低い評価であった。

◆ 調査結果のまとめ⑥

- 観光振興が地域に与える影響については、「環境悪化の原因になっている」、「日常生活の安心・静けさを損なっている」の回答する割合が高かった。
- 観光者への歓迎意向は34.8%で、昨年度から9.4ポイント低下した。
- 訪問税などの支持意向は68.5%であった。その用途をみると、「地域住民の暮らしや安心の確保」、「観光設備の整備」、「観光者のマナーやルール啓発」の回答が多かった。

◆ 調査結果のまとめ⑦

- 観光者の来訪による日常生活への影響については、「車や観光バス等による交通問題」、「立ち入り禁止区域への侵入」、「住宅地や公共の場へのごみのポイ捨て」の回答が多かった。
- 地域愛着スコアは3.26点で、昨年度とほぼ同じであった。観光者との感情的連帯感スコアは2.85点で、昨年度から0.10ポイント低下した。